

1. 特集

コロナ禍における観光旅行に対する意識・実態

今回は本特集に向け新たに設問を設置し、新型コロナウイルス感染症の拡大や、それに伴う各種割引キャンペーン・旅行商品が、人々の観光旅行に対する意識や行動にどのような影響を与えているのかを調査した。また、今後1年の宿泊観光旅行に対する希望について、昨年度の結果や今年度の実績と比較し、コロナ禍における観光旅行に対する人々の意識を分析した。なお、調査については令和2年9月25日～10月2日に実施しており、キャンペーン利用についてはその時点のものであることにご留意いただきたい。

◆結果のポイント◆

1. 旅行に関する割引キャンペーンの利用状況

約4割が旅行に関する割引キャンペーンを利用（予定含む）
女性はキャンペーンを利用しない意向の人が多い

2. 割引キャンペーンの利用内容

「Go To トラベルキャンペーン」の利用率（予定含む）が高い
秋田県では自治体が行っているキャンペーンの利用率（予定含む）が高い

3. コロナ禍の旅行で必要な情報および入手ルート

コロナ禍に必要な旅の情報は感じ方に男女差がある
情報入手は公的サイトからが中心

4. 仮想旅行体験の有無

仮想旅行体験（オンラインツアー、VRでの観光体験等）は約3割が希望
特に若年層において参加希望率が高い

5. 仮想旅行体験の感想

体験者の7割以上が仮想旅行体験は実際に現地へ赴く旅行につながると回答
女性は仮想旅行体験と現実の旅行を区別して捉えている傾向がある

6. 今後の宿泊観光旅行への希望

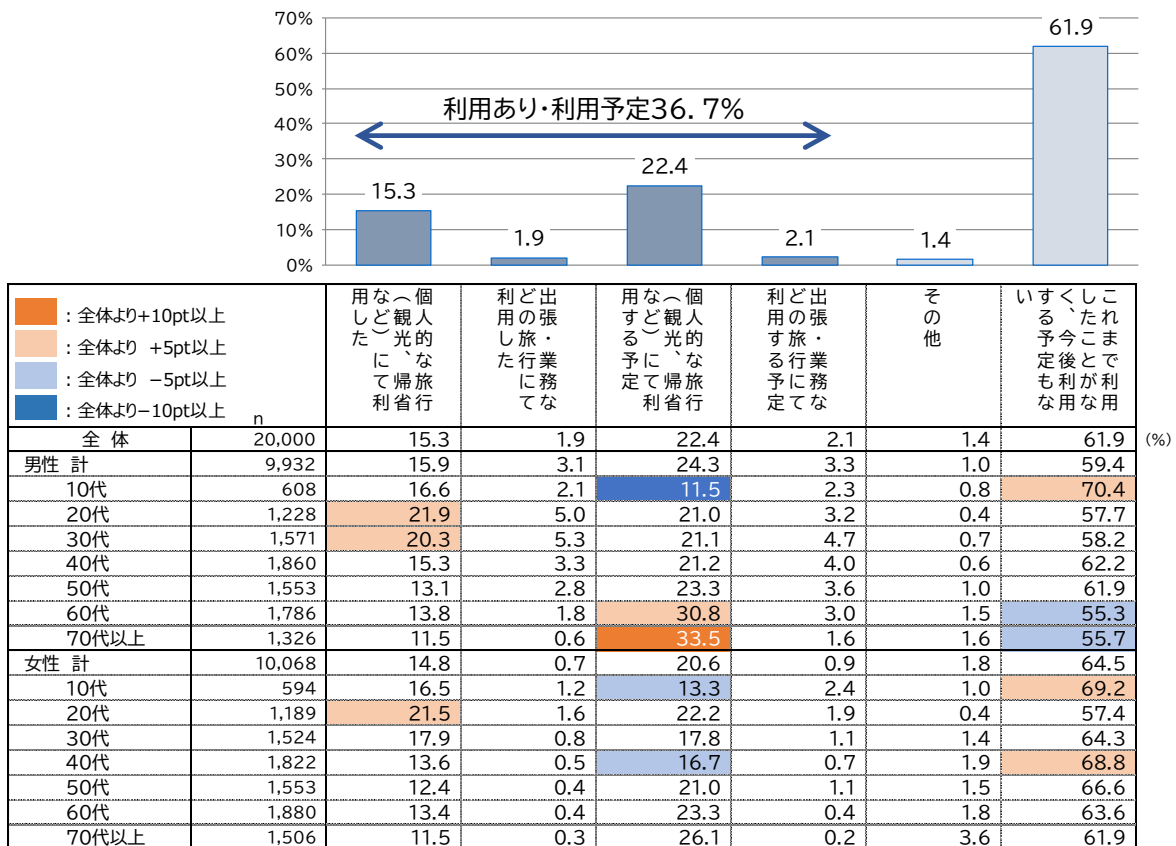
宿泊観光旅行の希望は縮小
居住地域内を旅行の行き先として希望する人が増加
ワーケーションの希望は学生で1割強

1. 旅行に関する割引キャンペーンの利用状況

コロナ禍における旅行需要の喚起策として実施されている、旅行に関する割引キャンペーンを利用したか、または利用する予定があるかを複数回答可で聴取したところ、何らかのキャンペーンを「利用した・利用予定がある」と回答した人は36.7%となった。実績・予定ともにビジネスよりも個人的な旅行（観光・帰省など）での利用が多い。

既に利用した人は男性20代、男性30代、女性20代で多く見られ、利用を予定している人は男性60代と男性70代以上が多い。一方で「これまで利用したことがなく、今後利用する予定もない」は全体で61.9%となっており、特に男女10代、女性40代で多くなっている。また、女性の方が男性に比べて割引キャンペーンを利用しない意向が高く、今後1年間の宿泊観光旅行への参加意向についても男性（62.7%）に比べて女性（59.5%）の希望率が低くなっており、割引キャンペーンの有無に関わらず、コロナ禍において女性が旅行を回避している傾向にあることが読み取れる。

図表1-1: 割引キャンペーンの利用状況



居住都道府県別にみると、個人的な旅行にて利用した割合は、石川県（23.2%）、滋賀県（21.4%）、北海道（21.1%）、秋田県（20.8%）で高くなっており、利用予定の割合は、東京都（29.1%）で高くなっている。「これまで利用したことがなく、今後利用する

予定もない」は島根県で最も割合が高く、79.6%となっている。利用予定がない人が7割を超える県は他に、鳥取県（74.2%）、青森県（73.3%）、愛媛県（70.2%）である。このように、割引キャンペーンの利用実態には居住地域によってばらつきが見られる。

図表1-2:都道府県別 割引キャンペーンの利用状況

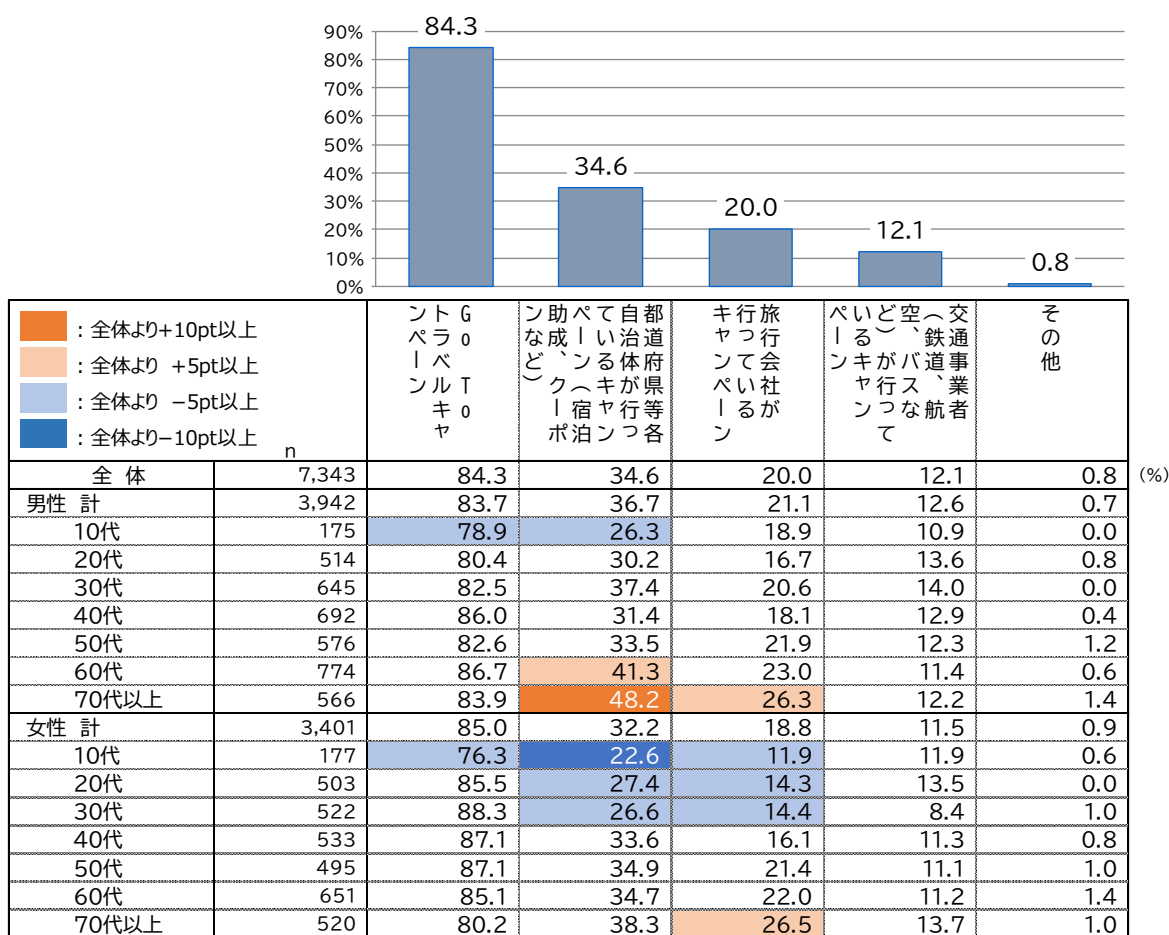
	n	個人的な旅行 (観光、帰省 など)にて利 用した	出張・業務な どの旅行にて 利用した	個人的な旅行 (観光、帰省 など)にて利 用する予定	出張・業務な どの旅行にて 利用する予定	これまで利用 したことがな く、今後利用 する予定もな い	その他
全体	20,000	15.3	1.9	22.4	2.1	61.9	1.4
北海道	868	21.1	2.1	17.4	2.8	61.6	1.0
青森県	210	8.1	1.0	16.2	5.2	73.3	1.0
岩手県	199	12.1	2.5	16.6	1.5	67.8	1.5
宮城県	368	18.8	2.2	16.6	1.9	62.0	1.6
秋田県	159	20.8	0.6	15.1	2.5	66.7	0.6
山形県	174	13.8	3.4	17.8	1.7	65.5	1.7
福島県	298	19.1	2.7	22.1	3.0	59.7	1.0
茨城県	462	15.2	0.6	24.2	0.9	60.2	1.5
栃木県	314	14.3	1.3	20.4	1.9	63.4	1.9
群馬県	308	17.5	0.3	16.6	1.0	66.2	1.6
埼玉県	1,175	14.6	2.0	21.1	2.0	63.2	1.5
千葉県	991	13.8	1.7	24.7	1.7	62.0	1.7
東京都	2,139	9.9	1.6	29.1	2.3	59.7	2.0
神奈川県	1,464	17.7	1.2	26.2	1.7	57.9	0.8
新潟県	363	17.6	2.2	18.7	1.9	63.9	1.4
富山県	165	13.9	1.8	16.4	3.0	66.7	1.2
石川県	181	23.2	2.2	19.3	2.2	61.3	0.0
福井県	122	13.1	2.5	13.9	1.6	68.9	2.5
山梨県	131	9.2	0.8	25.2	2.3	64.1	0.8
長野県	322	13.0	1.2	20.8	1.6	66.8	1.6
岐阜県	317	16.4	2.5	19.9	0.9	64.4	0.9
静岡県	581	14.3	1.9	20.8	1.5	64.0	1.5
愛知県	1,175	16.3	2.3	25.7	2.2	58.1	0.9
三重県	284	16.2	1.4	19.7	0.0	63.4	1.8
滋賀県	220	21.4	2.3	25.0	3.2	54.1	0.9
京都府	407	19.7	2.5	20.9	3.4	59.0	1.5
大阪府	1,390	17.2	2.5	24.4	2.8	59.1	0.9
兵庫県	867	17.0	1.2	22.3	1.8	61.8	0.9
奈良県	218	17.4	1.8	20.2	2.3	64.2	2.3
和歌山県	154	16.2	1.9	15.6	1.9	65.6	3.2
鳥取県	89	11.2	1.1	15.7	0.0	74.2	1.1
島根県	103	9.7	1.0	8.7	1.0	79.6	1.9
岡山県	296	13.5	2.0	24.0	0.7	62.5	0.3
広島県	443	14.2	1.8	23.3	2.0	62.5	0.7
山口県	218	16.5	2.3	20.2	3.2	66.1	0.9
徳島県	116	13.8	3.4	17.2	0.0	69.0	0.9
香川県	150	12.7	4.0	20.7	2.7	63.3	2.0
愛媛県	215	12.6	0.9	18.6	0.9	70.2	1.9
高知県	113	14.2	0.9	19.5	3.5	67.3	1.8
福岡県	797	16.2	2.6	25.5	3.9	55.2	2.5
佐賀県	128	9.4	2.3	22.7	0.8	68.8	1.6
長崎県	213	17.4	1.4	19.7	1.9	63.8	0.9
熊本県	275	12.4	1.1	18.5	1.8	66.5	1.8
大分県	179	16.8	2.2	20.1	1.7	61.5	1.1
宮崎県	170	11.2	2.4	21.8	4.1	66.5	0.6
鹿児島県	250	14.4	2.8	17.6	2.4	64.8	1.6
沖縄県	219	13.2	0.9	16.0	0.9	69.9	1.8

: 全体より+10pt以上
 : 全体より +5pt以上
 : 全体より -5pt以上
 : 全体より-10pt以上

2. 割引キャンペーンの利用内容

利用（予定）の割引キャンペーンの内容は、「Go To トラベルキャンペーン」が84.3%で最も多く、次いで、「都道府県等各自自治体が行っているキャンペーン（宿泊助成、クーポンなど）」（34.6%）となっている。個々の自治体、事業者の割引キャンペーンよりも、政府が実施している「Go To トラベルキャンペーン」の利用が圧倒的に多い。各自自治体が行っている割引キャンペーンについては、性・年代による差が他の項目に比べて大きく、男性60代、70代以上の利用（予定）率が他の性・年代と比べて高く、男女ともに若年層での利用（予定）率が低い。

図表1-3: 割引キャンペーンの利用内容



図表1-4: 都道府県別「都道府県等各自自治体が行っている割引キャンペーン（宿泊助成、クーポンなど）」の利用（予定）率トップ5

順位	都道府県	n	割合
1	秋田県	52	71.2
2	島根県	19	57.9
3	岩手県	61	57.4
4	福井県	35	54.3
5	新潟県	126	53.2

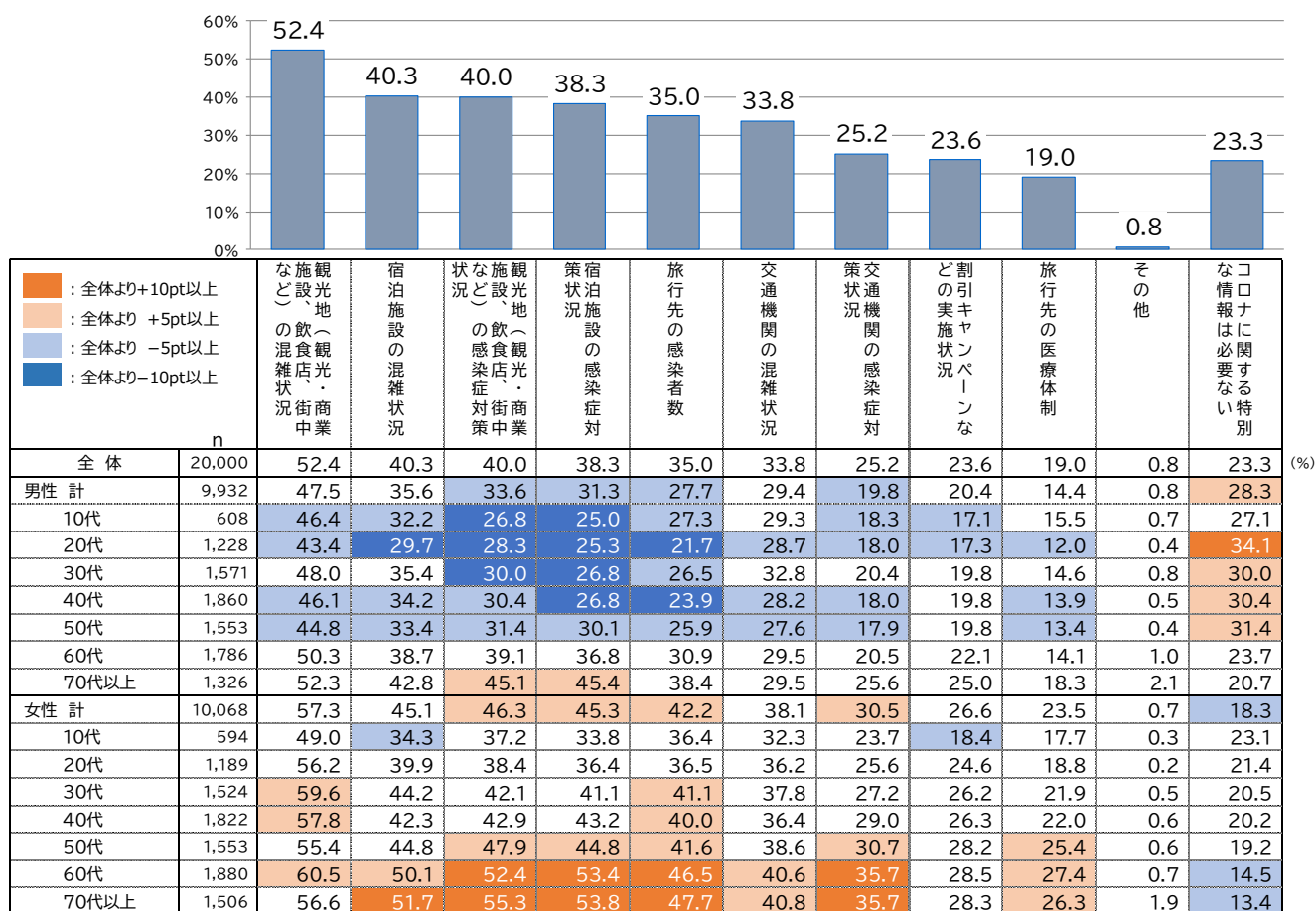
各自自治体が行っている割引キャンペーンの利用（予定）率について、都道府県別にみると、最もその割合が高いのは秋田県（71.2%）であり、他の都道府県に比べて非常に高い割合となっている。

3. コロナ禍の旅行で必要な情報および入手ルート

コロナ禍において旅行先を決定する際にどのような情報が必要と感じるかを複数回答可で聴取したところ、「観光地（観光・商業施設、飲食店、街中など）の混雑状況」が52.4%で最も多く、次いで、「宿泊施設の混雑状況」（40.3%）、「観光地（観光・商業施設、飲食店、街中など）の感染症対策状況」（40.0%）となっている。

女性においては、前述の「観光地の感染症対策状況」が第2位、「宿泊施設の感染症対策状況」が第3位となっており、“感染症対策状況に関する情報が必要”との認識が強い。また、混雑状況や感染症対策状況に加えて、旅行先の感染者数や医療体制についても、男性と比べて女性の回答率が高くなっており、特に60代以上の回答率が高い。一方、男性では、「コロナに関する特別な情報は必要ない」との回答が20～50代で30%以上となっている。このように必要な情報については男女間で差が見られ、男性よりも女性の方がより多くの情報を求めているといえる。

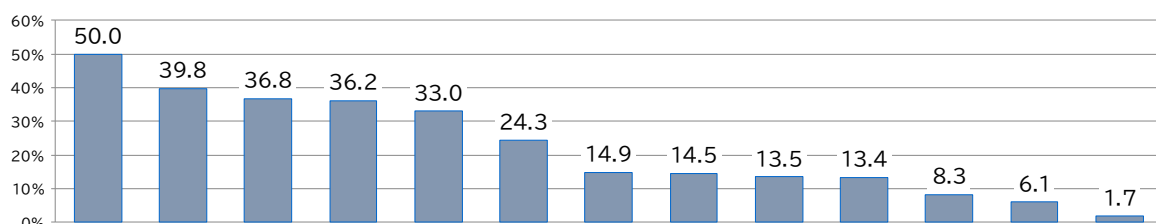
図表1-5:コロナ禍において旅行先決定の際に必要な情報



必要な情報をどこから入手するかについては、「旅行先の自治体（行政）のホームページ」が50.0%で最も多く、次いで、「旅行先の観光協会のホームページ」（39.8%）、「観光・商業施設や宿泊施設の公式サイト」（36.8%）、「旅行会社のホームページ」（36.2%）となっている。一方で、「国内の宿泊観光旅行に出かける前に参考にするもの」は、「ガイドブック」（40.1%）、「インターネットでの書込情報」（37.9%）、「旅行先の自治体のホームページ、観光地や施設の公式サイト」（33.0%）、「家族・友人の話」（30.1%）の順となっている。普段参考にするものとは異なり、コロナ禍においては、その必要な情報を公的かつ随時更新可能なインターネット媒体から求める割合が高くなっている。

年代別にみると、男女全年代で共通して最も多いのは、「旅行先の自治体（行政）のホームページ」である。しかし、男女とも10代～30代では情報入手の際にSNSを使う傾向が見られるのに対し、60代以上では従来メディア（テレビ・ラジオ・新聞等）や「観光案内所・情報センター」といった対面情報が利用されており、媒体によっては年代による差が顕著である。

図表1-6:コロナ禍において必要な情報の入手経路



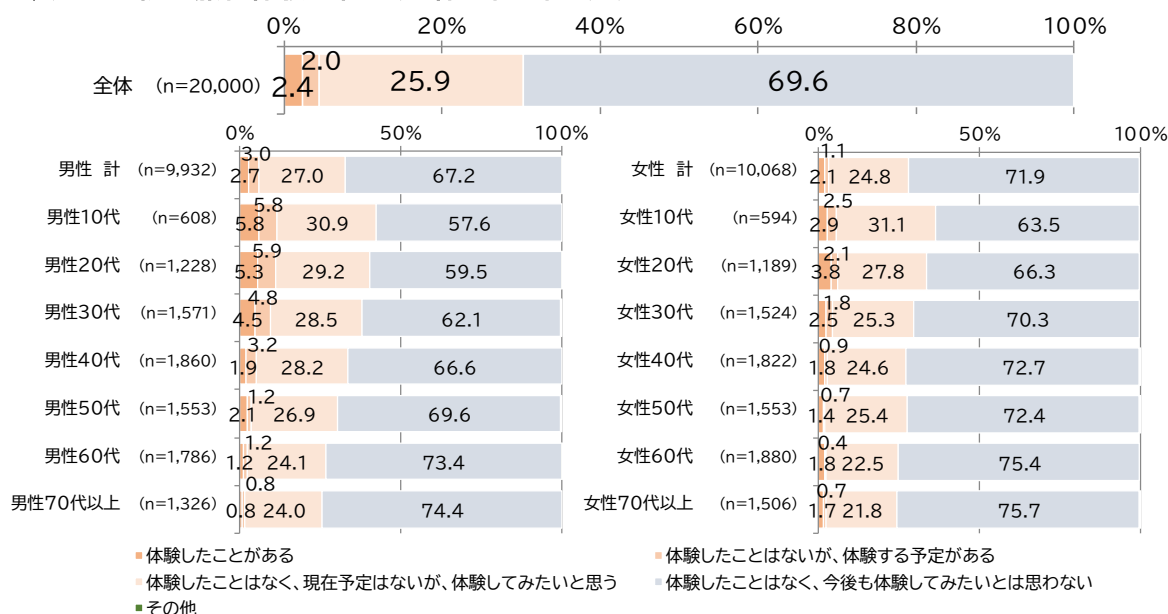
		全体より+10pt以上	旅行先の自治体（行政）のホームページ	旅行先の観光協会のホームページ	観光・商業施設や宿泊施設の公式サイト	旅行会社のホームページ	インターネットでの書込情報（口コミ・サイトなど）	テレビ・ラジオの番組	新聞・雑誌の記事	家族・友人の話	観光案内所・情報センター	SNS	個人などのSNS	観光案内所・情報センター	その他
n															
全体	15,347	50.0	39.8	36.8	36.2	33.0	24.3	14.9	14.5	13.5	13.4	8.3	6.1	1.7	
男性計	7,125	50.6	40.1	35.2	37.0	33.1	22.6	15.6	11.8	12.6	12.6	7.7	6.9	1.6	
10代	443	48.8	28.2	25.5	30.2	28.2	21.9	9.7	12.9	7.4	18.3	16.7	7.2	1.1	
20代	809	49.1	33.4	30.7	34.5	32.0	17.1	8.8	15.3	10.5	21.1	17.4	10.1	1.7	
30代	1,099	53.3	39.0	33.3	37.8	39.3	20.4	10.9	13.3	10.6	15.2	14.4	11.6	0.9	
40代	1,294	52.2	40.2	34.1	38.6	37.4	19.0	12.0	12.6	10.2	9.6	6.4	7.7	0.8	
50代	1,066	51.2	40.6	35.4	37.1	34.8	21.3	14.5	10.3	11.8	9.8	4.3	6.2	1.6	
60代	1,362	48.1	42.5	39.3	39.6	27.9	26.9	19.3	8.7	14.0	8.7	2.4	3.6	2.3	
70代以上	1,052	50.3	47.6	40.9	35.3	29.1	29.9	29.2	11.5	20.7	12.7	1.3	3.3	2.5	
女性計	8,222	49.5	39.6	38.2	35.5	32.9	25.7	14.2	16.8	14.3	14.1	8.9	5.4	1.9	
10代	457	47.9	31.7	31.3	28.9	30.2	20.1	8.8	15.5	8.3	23.0	20.8	3.5	2.0	
20代	934	48.6	30.2	33.5	32.3	32.3	20.4	5.9	17.2	7.8	24.1	24.6	6.2	1.1	
30代	1,211	54.7	38.8	37.9	35.0	36.0	19.7	6.5	15.2	10.8	17.0	13.7	8.3	1.6	
40代	1,454	51.8	39.2	38.0	35.7	38.2	23.1	8.9	15.7	11.6	12.5	7.4	6.9	1.9	
50代	1,255	50.4	43.8	43.3	39.7	34.6	27.3	13.8	15.9	13.9	10.4	4.7	6.5	1.7	
60代	1,607	50.1	44.6	40.8	37.2	31.0	29.2	20.0	16.9	18.4	10.1	2.9	3.4	1.5	
70代以上	1,304	41.9	40.1	36.3	34.0	26.3	33.9	28.3	20.8	22.5	11.3	2.0	2.5	3.4	

4. 仮想旅行体験の有無

オンラインツアーやオンラインでのアクティビティ体験、VRでの観光体験など、実際に現地に行かずにオンライン上で旅行を楽しむ体験*（以下、仮想旅行体験）をしたことがあるか、または体験する予定があるかを聴取したところ、「体験したことがある」は2.4%にとどまるものの、「体験したことはないが、体験する予定はある」が2.0%、「体験したことはなく、現在予定はないが、体験してみたいと思う」が25.9%となっており、予定・希望を含めると約3割が仮想旅行体験（予定・希望）ありという結果になっている。

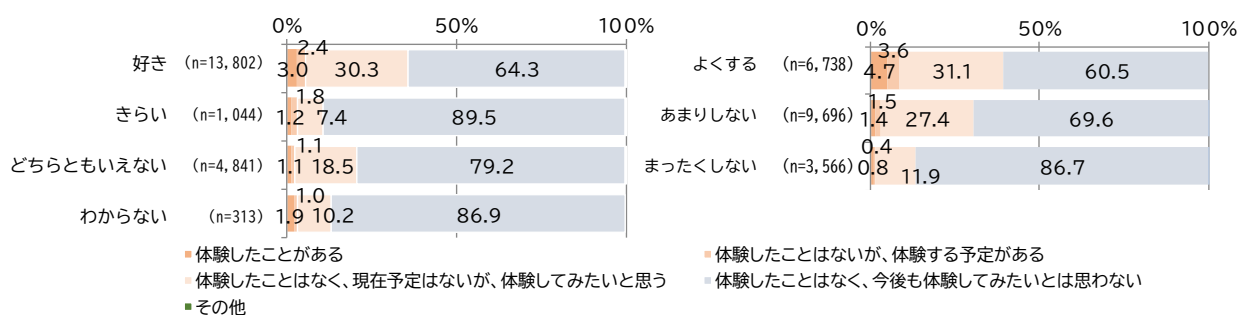
男女ともに年代が低いほど、体験（予定・希望）ありの割合が高い傾向にある。特に男性10代、20代においては、「体験したことがある」、「体験したことはないが、体験する予定がある」の合計が1割を超えている。

図表1-7: 仮想旅行体験の有無(全体/性・年代別)



また、旅行に対する好み、旅行の頻度別にみると、旅行が好きな人、旅行をよくする人において、体験（予定・希望）ありの割合が高くなっている。

図表1-8: 仮想体験の有無(旅行に対する好み別/旅行頻度別)



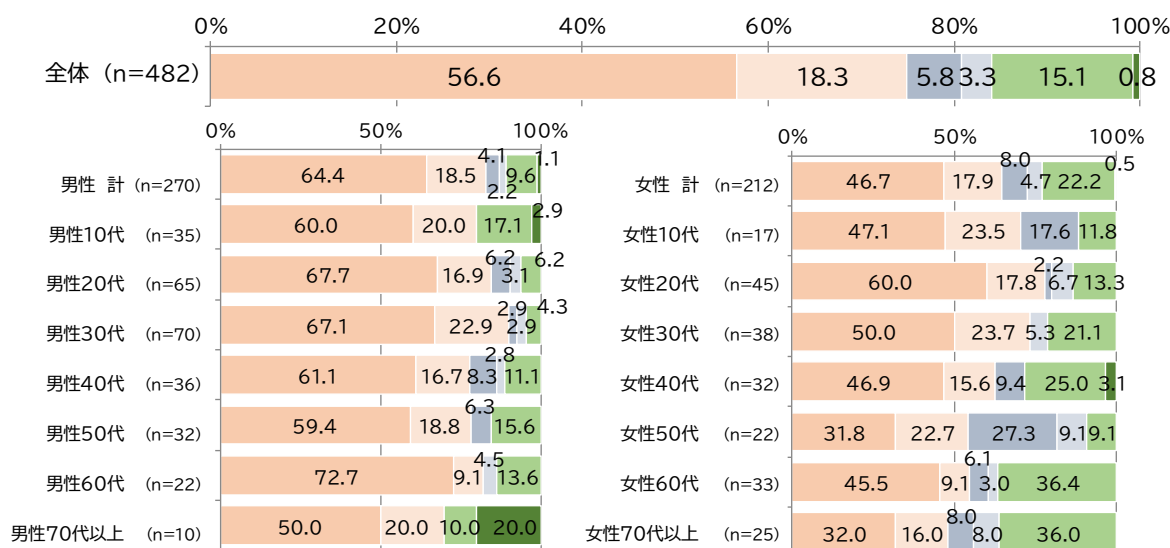
※オンライン上での旅行先は国内・海外問わず、コロナ禍以前の体験も含む。

5. 仮想旅行体験の感想

仮想旅行体験者（n=482）に対し、どのように感じたかを聴取したところ、「オンライン上での体験でさらに興味がわいたため、実際に現地にも行ってみたい、現実でも同じ体験をしてみたい」と答えた人が56.6%と最も多かった。次いで、「オンライン上での体験では物足りなかったため、実際に現地に行ってみたい、現実で同じ体験をしてみたい」（18.3%）となっており、仮想旅行体験が実際の現地への旅行につながる可能性を示唆する結果となっている。一方で、「現実とは別のものとして、今後もオンライン上で体験をしたい」は15.1%となっており、仮想旅行を“現地旅行の替わり”ではなく、実際の旅行とは切り離れたアクティビティとして捉えている人も一定数いることには注意が必要である。

回答には男女差が見られ、男性は、オンライン上でのポジティブ体験が現実の体験意向に結びつく傾向が強く、女性は、仮想旅行体験と現実の旅行を区別して捉えている割合が高い。

図表1-9: 仮想旅行体験の感想(全体/性・年代別)



- オンライン上での体験でさらに興味がわいたため、実際に現地にも行ってみたい、現実でも同じ体験をしてみたい
- オンライン上での体験では物足りなかったため、実際に現地に行ってみたい、現実で同じ体験をしてみたい
- オンライン上での体験で満足したため、実際に現地に行くことはない、現実で同じ体験をすることはしない
- オンライン上での体験が不満だったため、実際に現地に行くことはない、現実で同じ体験をすることはしない
- 現実とは別のものとして、今後もオンライン上で体験をしたい
- その他

6. 今後の宿泊観光旅行への希望

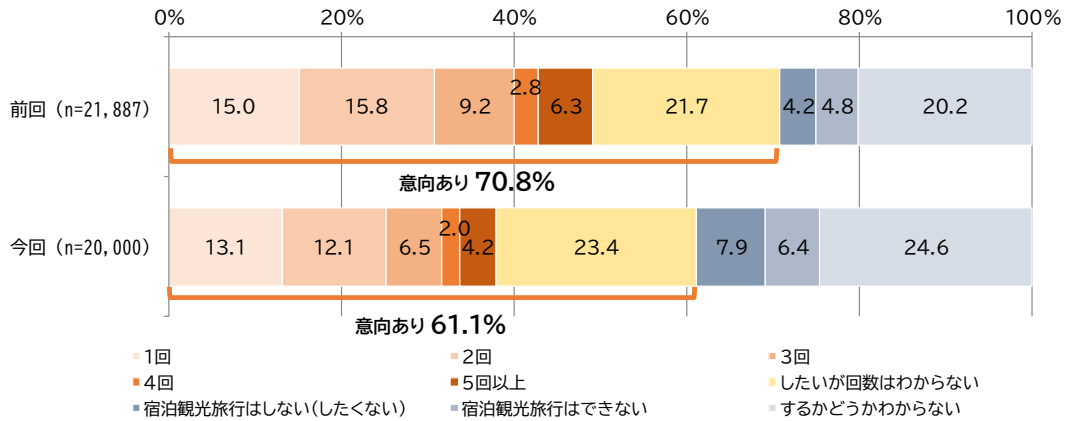
今後1年間の国内宿泊観光旅行への希望を前回調査結果と比較すると、旅行意向を示した人の割合は、前回の70.8%から、今回は61.1%と9.7ポイントも減少している。

希望する旅行先に関して、旅行意向がある人に限定してみると、居住地域内*と答えた人は18.4%で、前回(12.7%)から5.7ポイント増加している。居住地域別にみても、すべて

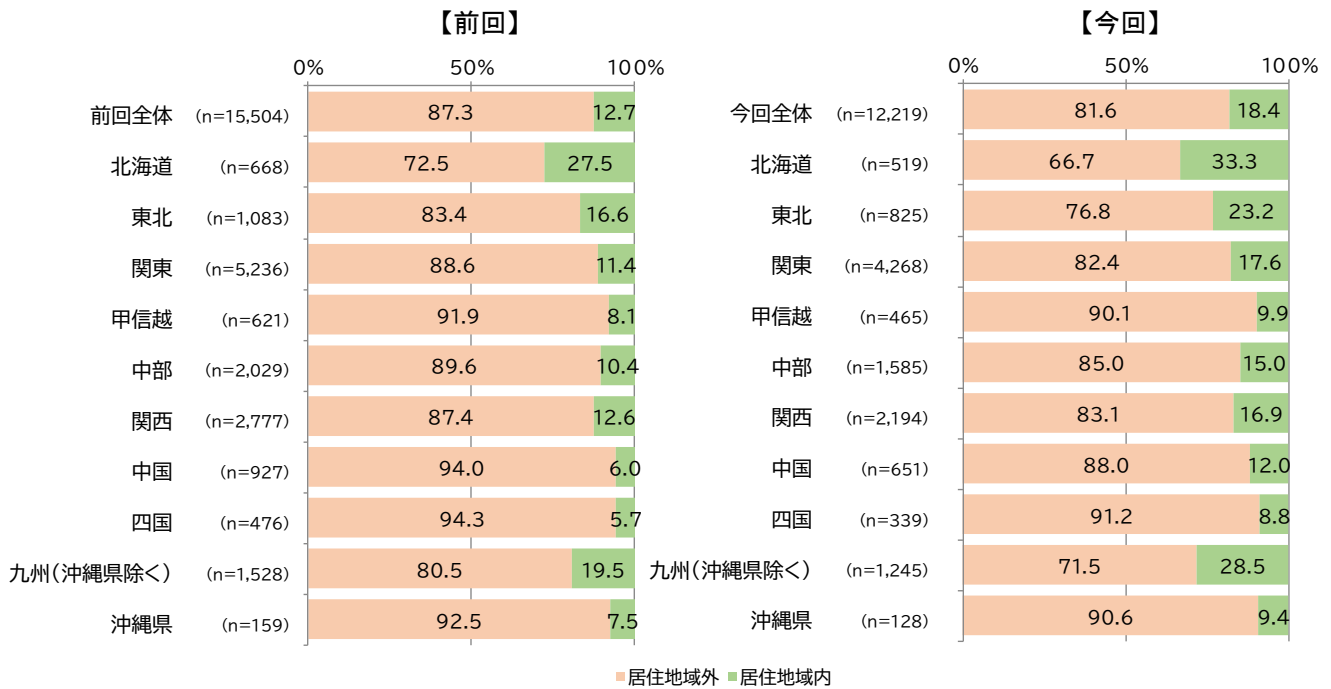
*地域区分: 北海道・東北・関東・甲信越・中部・関西・中国・四国・九州(沖縄県除く)・沖縄県

の地域において「居住地域内」への旅行を希望する割合が前回よりも高くなっている。中でも九州（沖縄県除く）、東北、関東エリアでの増加率が大きい。

図表1-10: 前回調査と今回調査における国内の宿泊観光旅行への希望回数の比較

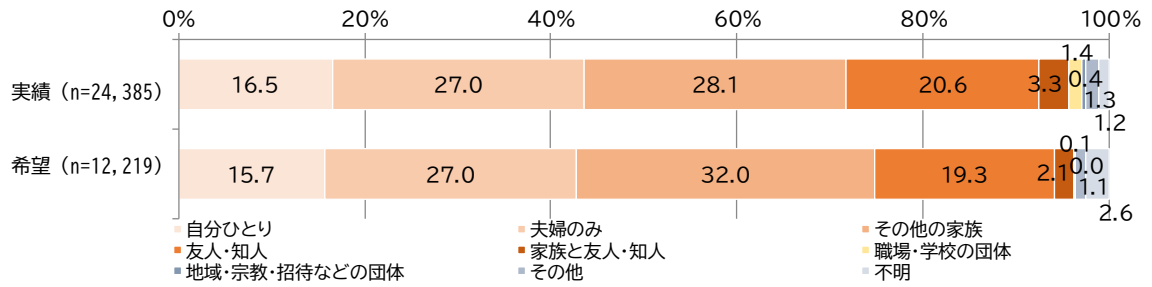


図表1-11: 前回調査と今回調査における希望旅行先の比較



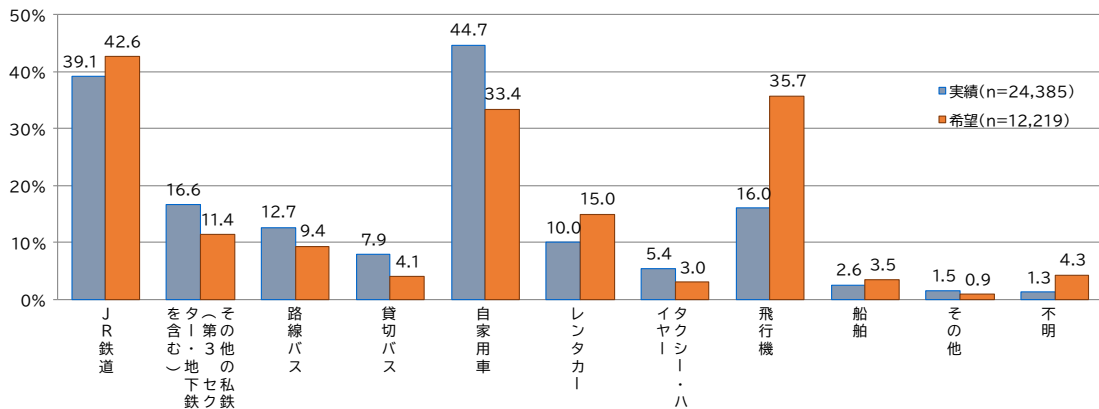
希望する国内宿泊観光旅行の同行者については、「その他の家族(夫婦以外の家族)」と答えた人が最も多く 32.0%である。次に「夫婦のみ」(27.0%)が続き、家族旅行(夫婦のみ+その他の家族)希望者は計 59.0%である。令和元年度の実績と比較すると、若干ではあるが、家族旅行の希望割合が増加している。また、団体旅行については、「職場・学校の団体」(0.1%)、「地域・宗教・招待などの団体」(0.0%)とも非常に少ない。

図表1-12: 同行者の実績と希望の比較



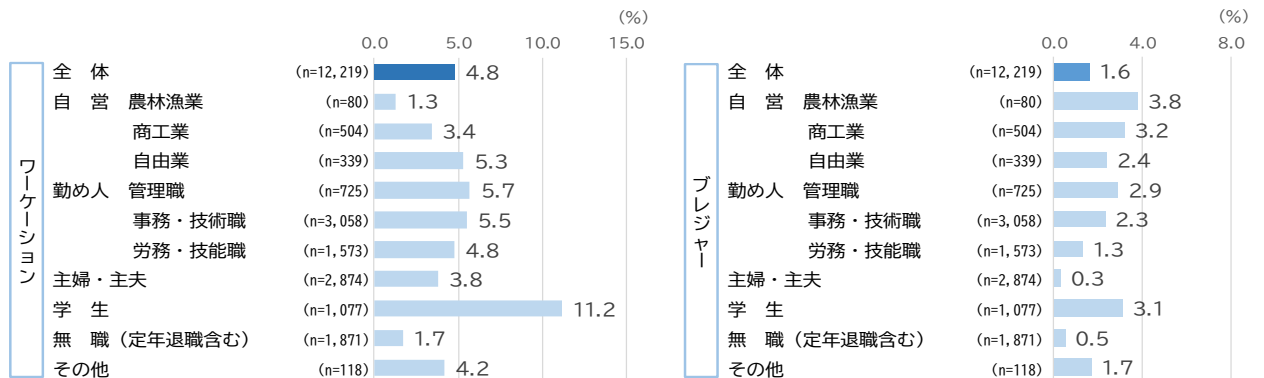
交通手段については、「JR鉄道」の利用希望が42.6%で最も高く、「飛行機」(35.7%)、「自家用車」(33.4%)と続く。令和元年度の実績と比較すると、「飛行機」では、希望が実績を大幅に上回っている。一方、コロナ禍において人との接触を避けるために利用の増加が見込まれる「自家用車」については、実績よりも希望が下回る結果となっている。

図表1-13: 利用交通手段の実績と希望の比較



希望する宿泊観光旅行タイプについてワーケーションとブレジャーに注目すると、ワーケーションは4.8%、ブレジャーは1.6%と、全体におけるその希望率は低い。職業別にみると、ワーケーションは「学生」において希望割合が高い点が特徴である。

図表1-14: 職業別希望する宿泊観光旅行の目的(ワーケーション・ブレジャー)



2. 令和2年度調査結果のポイント

本調査は、全国の20,000人を対象に、令和元年度（平成31年4月～令和2年3月までの1年間）の国内旅行の実態と、今後の希望について調査を行ったものである。この調査は、昭和39年から継続して実施しており、国民の観光動向を50年以上のロングスパンで比較検証できる調査である。ただし、平成24年度調査（23年度の宿泊観光旅行実態を調査）より、訪問留置調査から現在のインターネット調査へと調査手法を変更したため、平成22年度以前と平成23年度以降のデータとでは単純に比較はできない。

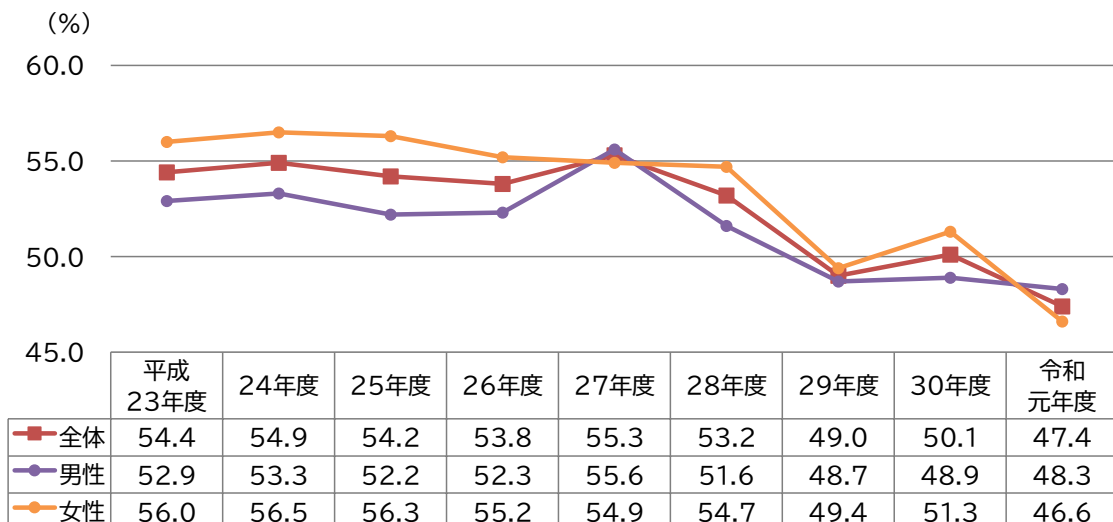
令和元年度の宿泊観光旅行は、昨年度の旅行実態よりも参加率が減少しており、特に3月の参加率の落ち込みが大きい。また、参加希望についても大きく減少しており、実績、希望ともに年度末からの新型コロナウイルス感染拡大の影響が現れたものと考えられる。

Data 1 宿泊観光旅行の参加率

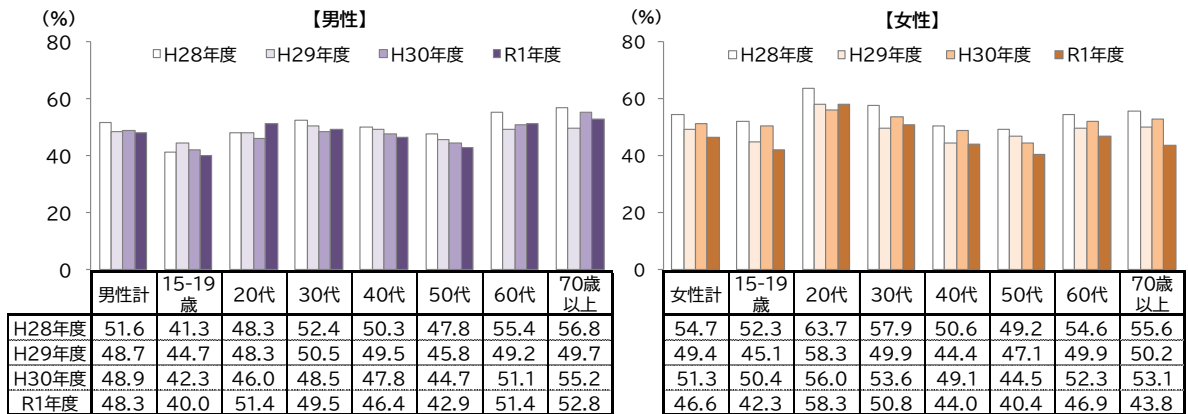
令和元年度における宿泊観光旅行への参加率は47.4%となり、昨年度に比べ2.7ポイントの減少となっている。宿泊観光旅行の参加率は、昨年度はやや増加したものの、今年度は減少に転じており、長期的にみると漸減傾向にある。性別にみると、男性の参加率は昨年度に比べ0.6ポイント減の48.3%、女性の参加率は昨年度に比べ4.7ポイント減の46.6%であった。男性に比べて、女性の参加率の減少幅が大きくなっており、平成27年度以来初めて、女性の参加率が男性の参加率を下回る結果となった。

性・年代別にみると、男性では20代・30代・60代の参加率が増加しているが、10代と40代・50代は経年で減少傾向が見られる。女性では唯一20代で増加しているものの、他すべての年代で昨年度より減少しており、特に10代と70歳以上で減少幅が大きい。

図表2-1：宿泊観光旅行参加率の推移(全体／性別)

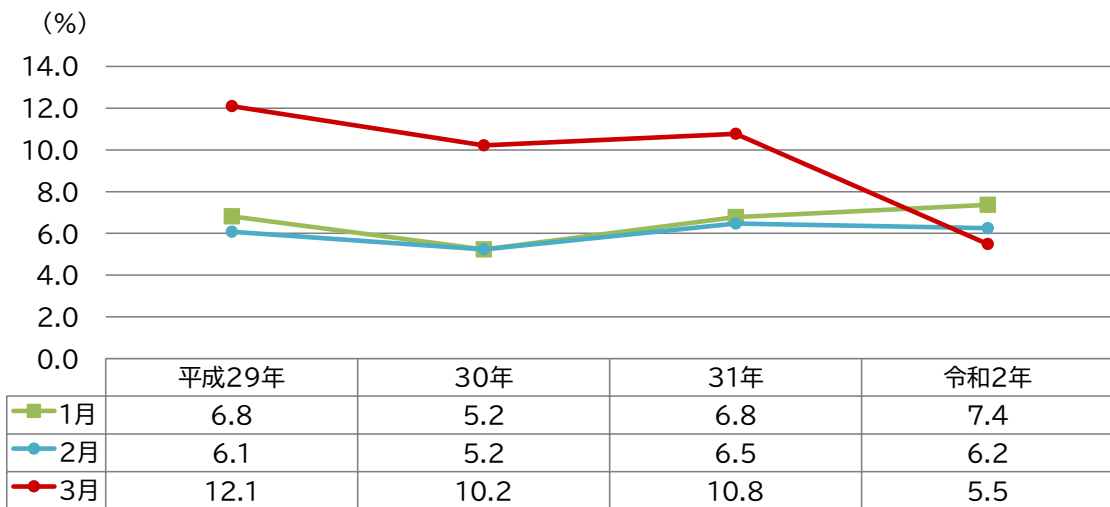


図表2-2: 宿泊観光旅行参加率の推移(性・年代別)

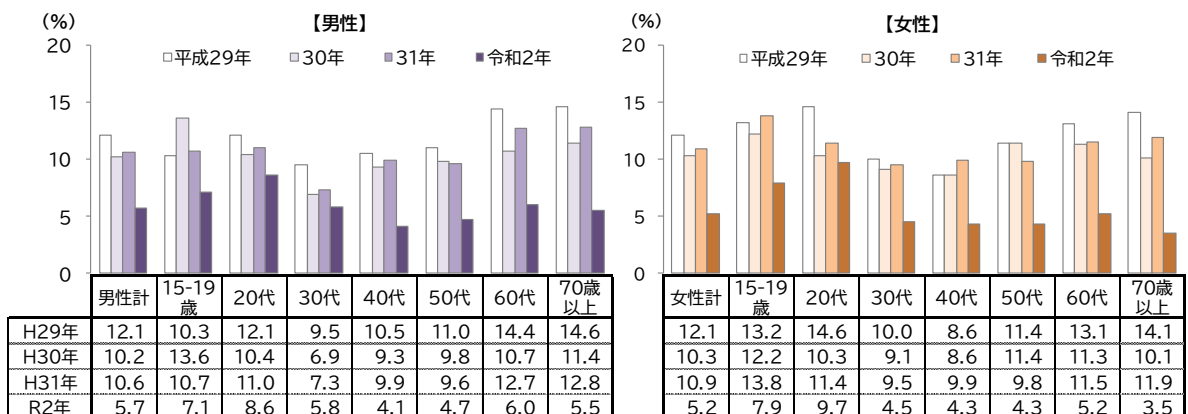


新型コロナウイルス感染拡大の影響を明らかにするため、過去4年間の1～3月の宿泊観光旅行への参加率を比較する。令和2年1、2月の参加率は例年並みであるものの、国内で新型コロナウイルス感染拡大が深刻化し始めた3月は、それまでと比べて半分近くにまで落ち込んでおり、新型コロナウイルス感染拡大の影響が顕著に現れている。性・年代別でも同様に、3月はすべての性・年代で大幅に減少している。

図表2-3: 1～3月の宿泊観光旅行参加率の推移



図表2-4: 3月の宿泊観光旅行参加率の推移(性・年代別)

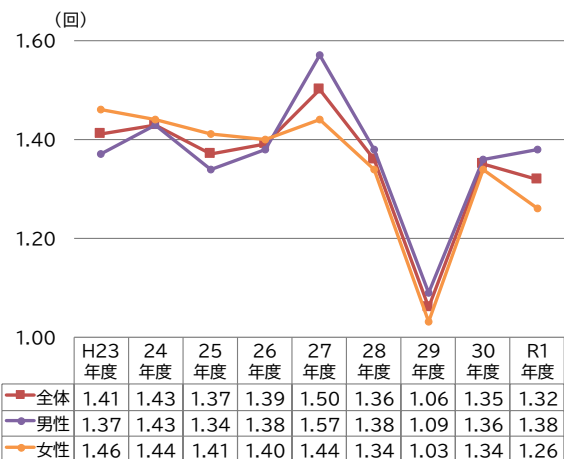


Data 2 宿泊観光旅行の回数

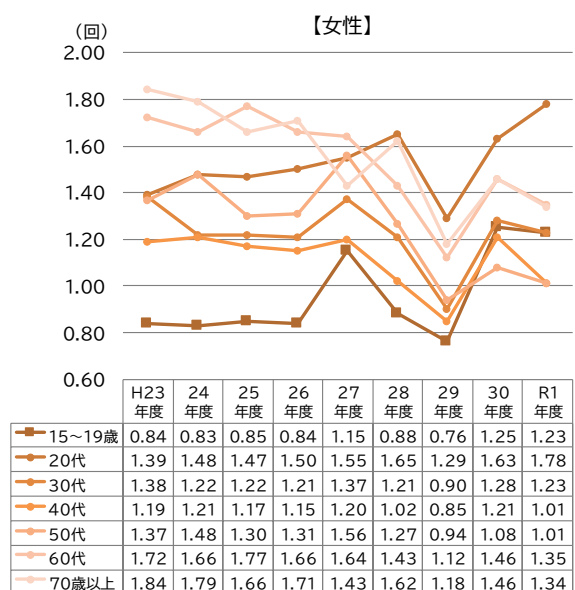
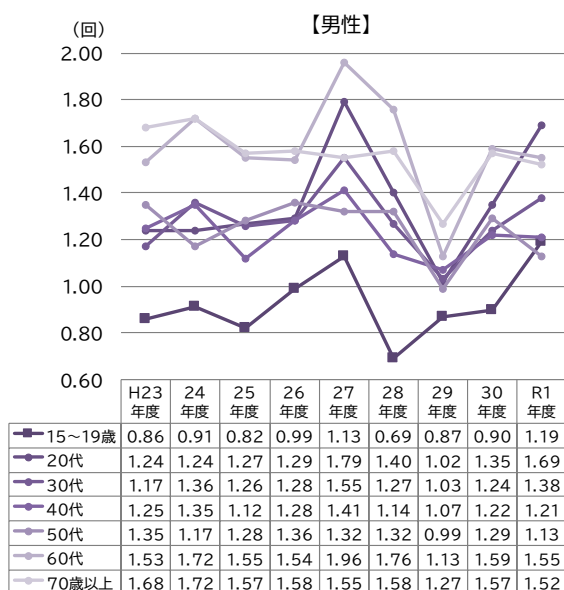
宿泊観光旅行への参加回数は全体で 1.32 回と昨年度に比べ僅かに減少している。男性は 0.02 回の増加、女性は 0.08 回の減少となっている。

性・年代別にみると、男性では 30 代以下の各層で昨年度から増加、40 代以上の各層では減少している。女性では、20 代が 1.78 回と最も多く、昨年度よりも増加しているが、その他の年代ではいずれも減少している。

図表2-5: 宿泊観光旅行への参加回数(全体平均)の推移(全体/性別)



図表2-6: 宿泊観光旅行への参加回数(全体平均)の推移(性・年代別)

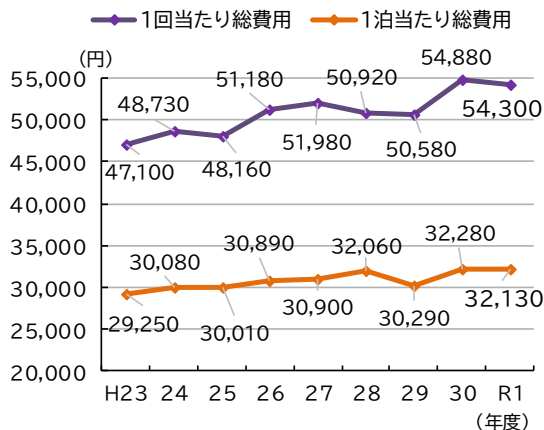


Data 3 旅行費用

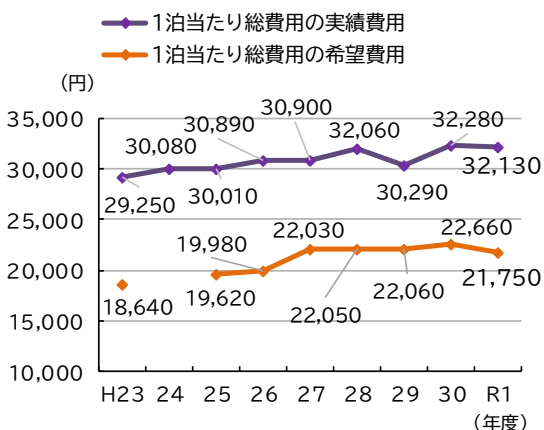
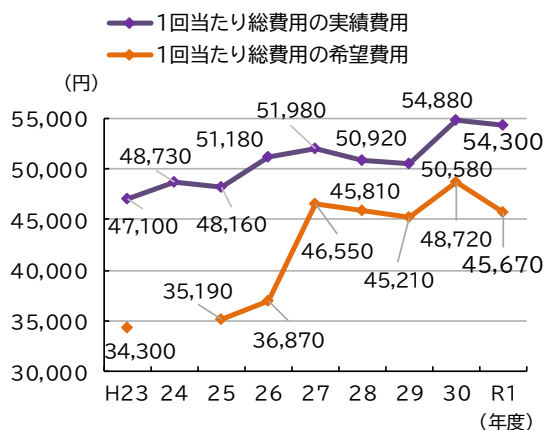
宿泊観光旅行における1回当たりの総費用は54,300円で昨年度から580円の減少となっている。1泊当たりの総費用は150円の減少である。

一方、希望費用では、1回当たりの総費用が45,670円と、昨年度から3,050円減少し、実績と希望の差が大きく開く結果となった。1泊当たりの総費用は21,750円と、昨年度から910円の減少である。

図表2-7: 宿泊観光旅行の総費用の推移 (1回当たり/1泊当たり)



図表2-8: 宿泊観光旅行の総費用の推移(1回当たり/1泊当たりの実績と希望)

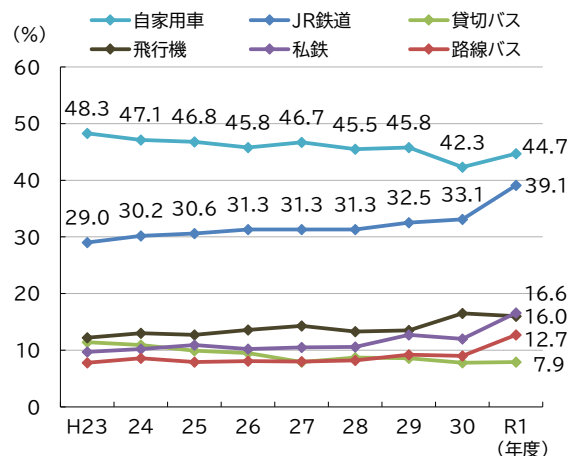


※平成25年度調査(平成24年度)の希望費用は、聴取方法を変更しているためデータの比較が難しく、掲載をしていない。

Data 4 交通手段

宿泊観光旅行における利用交通手段は、「自家用車」が44.7%と最も高く、次いで「JR鉄道」が39.1%、「私鉄」が16.6%と続く。経年的変化で見ると、「JR鉄道」、「私鉄」、「路線バス」の公共交通機関にそれぞれ増加が見られ、特に「JR鉄道」は6.0ポイント増となっている。また、経年で漸減傾向にあった「自家用車」が2.4ポイント増加している。

図表2-9: 宿泊観光旅行の利用交通手段の推移

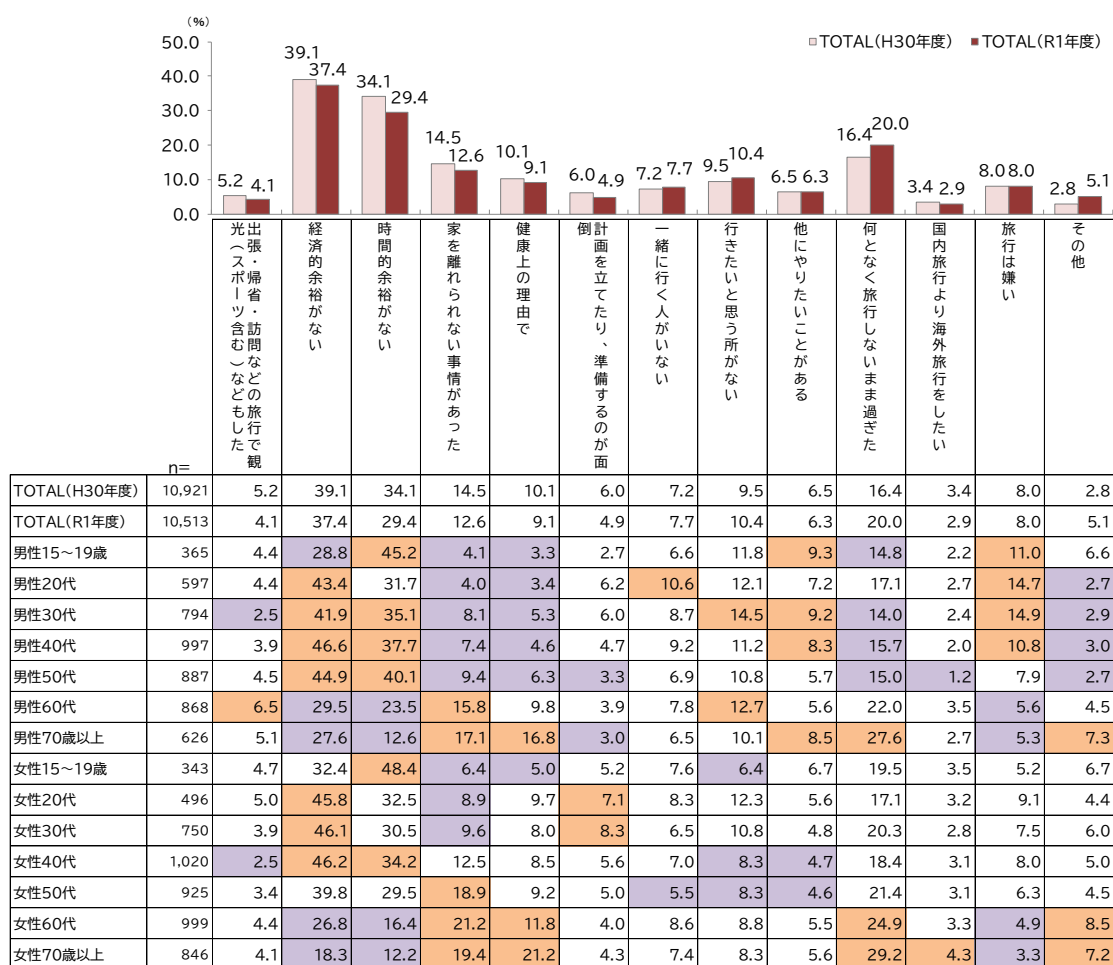


Data 5 宿泊観光旅行をしなかった理由

性・年代別に宿泊観光旅行をしなかった理由をみると、男女ともに20代～50代は「経済的余裕がない」をあげる割合が高く、4割前後となっている。また、男性60代以上、女性50代以上では「家を離れられない事情があった」が目立ち、自身の体調や家族の介護といった各家庭での事情があったことが推測され、男女とも70歳以上では「健康上の理由で」の割合が高くなっている。また、男女とも60代以上で「何となく旅行しないまま過ぎた」の割合が高くなっている。

昨年度調査と比較すると、「経済的余裕がない」、「時間的余裕がない」、「家を離れられない事情があった」の回答率は減少している。一方、「何となく旅行しないまま過ぎた」の回答率が増加しており、「行きたいと思う所がない」は僅かながら増加している。旅行行動への制約を要因とする割合が減っている一方で、人々の生活において旅に出かける魅力も低下している可能性がある。

図表2-10: 宿泊観光旅行をしなかった理由の比較

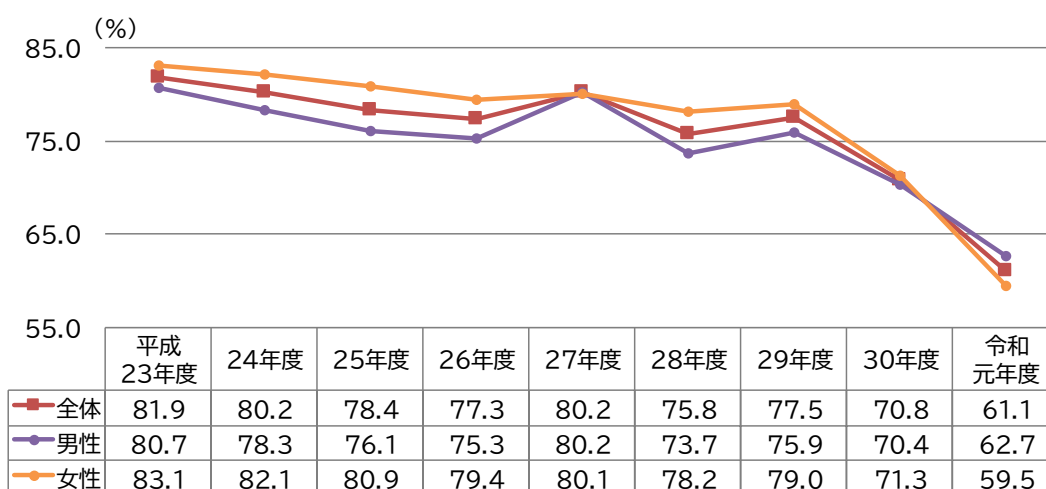


※ ■ TOTALよりも95%以上の水準で有意に高い ■ TOTALよりも95%以上の水準で有意に低い
 ※ベース：宿泊観光旅行をしていない人

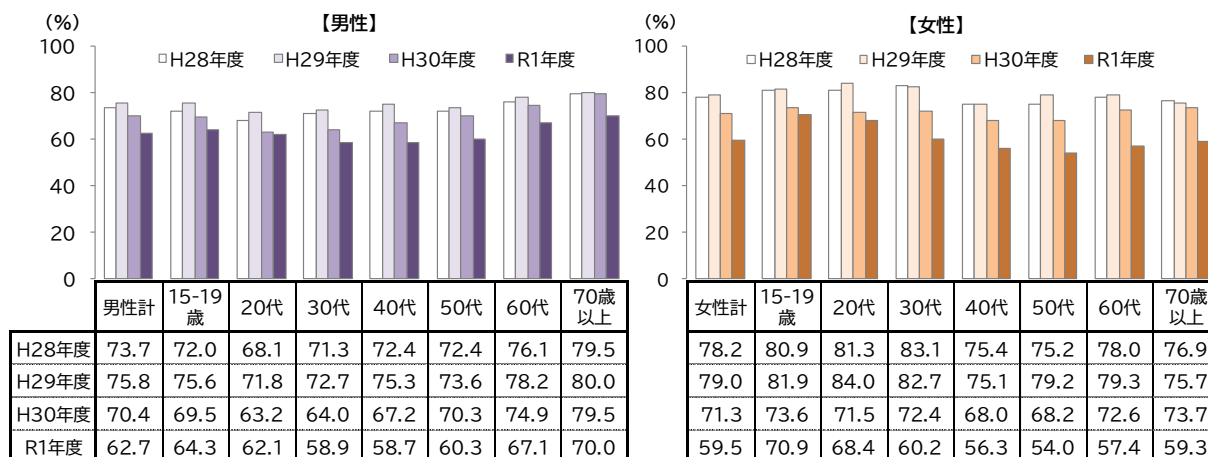
Data 6 宿泊観光旅行への参加希望率

宿泊観光旅行への参加希望率は、昨年度に比べて9.7ポイントの大幅な減少となっている。特に女性の30代以上で昨年度より大きく減少しており、現下の新型コロナウイルス感染拡大の影響が現れていると推察される。

図表2-11: 宿泊観光旅行参加希望率の推移(全体/性別)



図表2-12: 宿泊観光旅行参加希望率の推移(性・年代別)



3. 都道府県別集計（参考）

本調査は、平成24年度（第31回）調査よりインターネットモニター10,000人を対象としており、全国の動向として、満足度及び再来訪意向について、訪問先の都道府県別の集計を行ってきた。しかし、都道府県別の集計とした場合、そのサンプル数が100を割るところもあったため、前回調査より調査対象を20,000人に拡大し、より詳細な都道府県別の集計を実施している。

なお、今回の調査対象20,000人から得られた総旅行回数は24,385となっており、ここでは、その総旅行回数をベースに集計している。大規模サンプルでの実施は前回からであり、今後、継続して調査・集計することにより分析を深めていくことを考えている。

図表3-1: 宿泊観光旅行の訪問先

1	北海道	1,668	25	滋賀県	248
2	青森県	252	26	京都府	981
3	岩手県	242	27	大阪府	1,119
4	宮城県	521	28	兵庫県	717
5	秋田県	199	29	奈良県	165
6	山形県	326	30	和歌山県	324
7	福島県	537	31	鳥取県	207
8	茨城県	237	32	島根県	226
9	栃木県	756	33	岡山県	209
10	群馬県	604	34	広島県	449
11	埼玉県	273	35	山口県	240
12	千葉県	969	36	徳島県	105
13	東京都	2,072	37	香川県	187
14	神奈川県	1,147	38	愛媛県	185
15	新潟県	437	39	高知県	169
16	富山県	257	40	福岡県	711
17	石川県	509	41	佐賀県	135
18	福井県	237	42	長崎県	361
19	山梨県	477	43	熊本県	259
20	長野県	1,138	44	大分県	334
21	岐阜県	408	45	宮崎県	139
22	静岡県	1,301	46	鹿児島県	322
23	愛知県	561	47	沖縄県	769
24	三重県	495		TOTAL	24,385

※上記数値を「都道府県別の宿泊観光旅行の参加者」のサンプル数（n値）として、各種集計を行う。

【都道府県別集計1】年代構成

都道府県別に宿泊観光旅行参加者の年代構成をみると、30代以下の割合が高いのは大阪府（49.2%）、埼玉県（49.1%）、東京都（47.1%）及び香川県（47.1%）となっている。30代以下の占める割合の平均は36.0%であり、12都府県で平均を上回っている。

平均年齢をみると、大阪府は42.1歳と最も若く、次いで埼玉県、東京都、千葉県がいずれも43.5歳となっている。

図表3-2: 都道府県別来訪者の年代構成(30代以下の割合が高い順)

	n=	%							(%) (歳)	
		0%	20%	40%	60%	80%	100%	30代以下	平均年齢	
		■ 15~19歳	■ 20代	■ 30代	■ 40代	■ 50代	■ 60代	■ 70歳以上		
TOTAL	24,385	5.1	15.3	15.6	15.9	12.7	20.3	15.1	36.0	48.2
大阪府	1,119	8.1	22.2	18.9	18.0	11.3	13.0	18.4	49.2	42.1
埼玉県	273	8.8	20.1	20.1	13.2	9.2	18.7	9.9	49.1	43.5
東京都	2,072	6.9	21.3	18.9	15.0	13.4	15.6	8.9	47.1	43.5
香川県	187		21.4	20.9	13.9	9.1	21.4	8.6	47.1	44.3
千葉県	969	6.2	19.2	21.4	18.9	11.4	13.5	9.5	46.7	43.5
愛知県	561	5.7	18.7	19.3	18.2	11.9	16.2	10.0	43.7	44.3
茨城県	237	5.1	17.7	20.3	11.0	11.0	19.0	16.0	43.0	47.2
福岡県	711	5.6	21.4	13.5	18.7	15.3	17.3	8.2	40.5	44.8
沖縄県	769	5.2	15.0	19.5	21.2	10.1	20.0	9.0	39.7	45.9
秋田県	199	7.5	11.6	19.1	10.6	9.0	22.6	19.6	38.2	50.0
岩手県	242	7.9	15.7	14.0	15.3	10.7	20.2	16.1	37.6	47.6
宮城県	521	5.2	18.8	13.1	18.8	11.7	18.8	13.6	37.0	47.1
北海道	1,668	5.2	15.3	15.2	14.9	14.1	21.8	13.4	35.7	48.2
広島県	449	5.1	17.4	13.1	17.8	15.4	22.5	8.7	35.6	46.9
京都府	981	5.2	14.9	14.8	14.9	11.2	22.7	16.3	34.9	48.9
神奈川県	1,147	6.0	13.7	15.1	14.6	11.2	24.0	15.3	34.8	48.9
徳島県	105		13.3	18.1	5.7	14.3	22.9	22.9	34.3	51.3
石川県	509		17.3	12.6	15.9	12.6	21.0	16.3	34.2	48.9
青森県	252		15.5	13.5	10.3	11.9	23.4	20.6	33.7	50.6
新潟県	437		14.0	14.4	16.0	11.2	18.8	21.1	33.0	50.2
兵庫県	717		13.0	16.3	12.4	13.1	22.9	18.8	32.8	50.8
群馬県	604		14.6	14.6	11.4	14.1	24.2	17.7	32.6	50.8
鳥取県	207		16.9	12.6	14.0	9.2	20.8	23.7	32.4	51.0
宮崎県	139	5.0	9.4	18.0	20.1	21.6	12.2	13.7	32.4	48.2
熊本県	259		12.4	14.7	13.9	12.7	24.7	17.0	31.7	50.6
山形県	326	5.5	12.9	13.2	13.8	17.5	19.0	18.1	31.6	50.0
静岡県	1,301		14.1	14.5	17.1	13.1	20.8	17.4	31.6	49.8
愛媛県	185		18.9	9.2	19.5	9.2	21.1	18.9	31.4	49.5
大分県	334	5.7	10.5	15.3	13.8	10.2	27.2	17.4	31.4	50.8
三重県	495		13.5	14.5	19.8	15.2	18.2	15.6	31.3	48.9
長崎県	361		11.4	15.8	16.1	10.2	23.3	19.4	31.0	50.6
福島県	537		12.3	14.2	15.1	14.9	21.2	18.4	30.4	50.9
滋賀県	248	5.6	12.1	12.5	11.3	11.3	27.4	19.8	30.2	51.6
岐阜県	408		11.8	14.5	14.2	11.8	24.0	19.9	30.1	51.2
富山県	257	5.4	9.3	15.2	15.2	14.8	19.5	20.6	30.0	51.0
福井県	237		14.3	12.7	15.2	14.3	19.8	20.7	30.0	50.9
鹿児島県	322		10.2	18.0	20.5	12.7	21.7	15.2	29.8	50.3
岡山県	209		12.0	16.3	15.8	12.0	22.0	20.6	29.7	51.4
佐賀県	135	5.9	8.1	15.6	17.8	8.1	23.0	21.5	29.6	50.9
栃木県	756		9.5	14.7	14.4	14.0	21.4	21.3	28.8	51.8
和歌山県	324	5.6	9.6	13.6	18.2	12.7	20.7	19.8	28.7	50.9
山梨県	477		10.7	14.0	15.7	15.7	18.4	22.2	27.9	52.1
島根県	226		11.1	14.2	15.5	9.7	28.3	18.6	27.9	52.4
長野県	1,138		11.1	12.7	15.8	15.2	23.4	18.7	26.9	51.9
奈良県	165		10.3	11.5	15.8	12.1	23.0	22.4	26.7	52.4
山口県	240		11.3	12.1	12.1	12.9	25.4	23.3	26.3	53.1
高知県	169		10.1	10.1	16.6	13.6	27.8	18.3	23.7	53.2

※5%未満は非表示、30代以下の割合の多い順に掲載

【都道府県別集計2】居住地構成

都道府県別の居住地構成をみると、東日本では「関東」の居住者が多く、栃木県(78.6%)と群馬県(80.3%)では特に、関東居住者の占める割合が高い。一方、西日本では、同じエリア内に住んでいる人の割合が高く、特に九州の各県においてその傾向が顕著に現れている。

図表3-3: 都道府県別来訪者の居住地構成

	TOTAL	居住地 (%)								
		北海道	東北	関東	甲信越	中部	関西	中国	四国	九州
TOTAL	24,385	3.9	6.3	37.2	4.2	13.0	17.4	5.2	2.9	9.9
北海道	1,668	32.7	5.3	31.6	1.5	8.4	12.8	1.7	1.7	4.2
青森県	252	2.4	22.2	42.9	4.4	9.1	10.7	4.0	1.6	2.8
岩手県	242	2.1	45.5	33.1	3.7	4.5	6.2	1.2	0.8	2.9
宮城県	521	1.9	40.9	38.8	4.6	4.6	3.8	2.1	0.4	2.9
秋田県	199	2.5	30.2	40.7	2.0	6.0	11.1	2.5	1.5	3.5
山形県	326	1.2	29.8	45.1	9.8	5.5	5.8	0.6	0.6	1.5
福島県	537	0.7	27.9	54.4	6.3	5.4	3.2	0.9	0.7	0.4
茨城県	237	0.4	12.2	67.9	3.8	4.2	5.1	1.7	0.8	3.8
栃木県	756	0.5	9.3	78.6	2.2	2.6	4.0	0.7	0.3	1.9
群馬県	604	0.5	2.0	80.3	5.8	4.1	4.6	0.5	0.3	1.8
埼玉県	273	1.5	6.2	57.1	9.5	11.4	7.7	2.2	1.1	3.3
千葉県	969	2.0	4.6	56.4	5.0	12.2	11.5	3.3	0.8	4.2
東京都	2,072	6.2	11.3	15.8	7.1	19.4	18.6	5.2	4.1	12.3
神奈川県	1,147	1.0	6.1	65.0	4.7	8.4	8.7	1.6	0.8	3.8
新潟県	437	0.7	8.2	50.3	24.7	5.9	6.4	0.9	0.7	2.1
富山県	257	1.2	2.3	36.6	8.2	26.5	21.0	1.6	0.8	1.9
石川県	509	0.8	2.9	33.0	5.1	29.3	22.6	2.8	1.0	2.6
福井県	237	0.8	2.5	16.9	3.8	32.5	36.7	2.5	1.3	3.0
山梨県	477	0.6	1.7	66.2	5.9	14.5	7.5	0.2	1.9	1.5
長野県	1,138	1.4	1.8	52.0	9.3	18.5	13.2	0.7	1.1	1.9
岐阜県	408	0.7	0.7	21.6	3.9	47.8	21.3	1.7	0.7	1.5
静岡県	1,301	0.3	1.4	64.0	3.8	21.8	7.1	0.2	0.5	0.9
愛知県	561	2.1	1.8	28.9	3.6	26.4	26.0	4.3	1.6	5.3
三重県	495	1.6	2.0	12.3	2.4	27.7	48.5	2.2	0.4	2.8
滋賀県	248	0.8	0.0	12.9	2.8	19.0	56.5	4.0	1.6	2.4
京都府	981	1.5	2.1	35.2	4.2	16.4	25.0	5.2	3.5	6.9
大阪府	1,119	2.9	2.1	31.7	1.9	15.5	15.9	11.9	5.5	12.6
兵庫県	717	1.7	0.6	12.6	1.0	9.1	56.1	9.8	4.2	5.2
奈良県	165	1.8	2.4	29.7	3.0	10.3	32.1	5.5	4.8	10.3
和歌山県	324	0.6	1.2	13.9	0.3	11.1	64.8	4.6	2.5	0.9
鳥取県	207	0.5	1.4	13.0	1.4	6.3	31.9	30.9	7.7	6.8
島根県	226	0.9	2.7	17.7	1.3	10.2	26.1	25.7	6.2	9.3
岡山県	209	1.0	1.4	9.6	0.5	8.1	27.3	32.1	14.8	5.3
広島県	449	2.0	2.0	24.7	1.6	7.8	18.9	21.8	10.2	10.9
山口県	240	0.8	0.8	19.2	2.1	3.3	17.9	25.8	10.0	20.0
徳島県	105	1.0	1.9	21.0	0.0	7.6	35.2	10.5	20.0	2.9
香川県	187	1.1	1.6	21.9	0.5	5.9	28.9	15.5	18.7	5.9
愛媛県	185	1.1	0.5	18.9	0.0	7.6	27.0	16.8	20.0	8.1
高知県	169	3.0	0.6	18.9	0.6	3.6	26.0	13.0	30.8	3.6
福岡県	711	2.0	1.3	17.9	0.8	4.2	14.9	9.4	5.2	44.3
佐賀県	135	0.7	0.7	12.6	2.2	0.0	12.6	8.1	1.5	61.5
長崎県	361	1.4	0.8	21.3	1.1	6.6	12.7	5.3	0.6	50.1
熊本県	259	1.2	2.3	14.7	0.4	3.1	7.3	5.4	0.4	65.3
大分県	334	0.9	1.2	10.2	1.2	3.3	7.5	7.5	3.3	65.0
宮崎県	139	0.7	0.0	13.7	0.0	2.9	9.4	7.9	2.2	63.3
鹿児島県	322	0.6	2.8	22.4	1.2	6.5	17.4	4.7	1.6	42.9
沖縄県	769	3.3	3.0	41.0	2.1	10.3	18.6	3.9	1.8	16.1

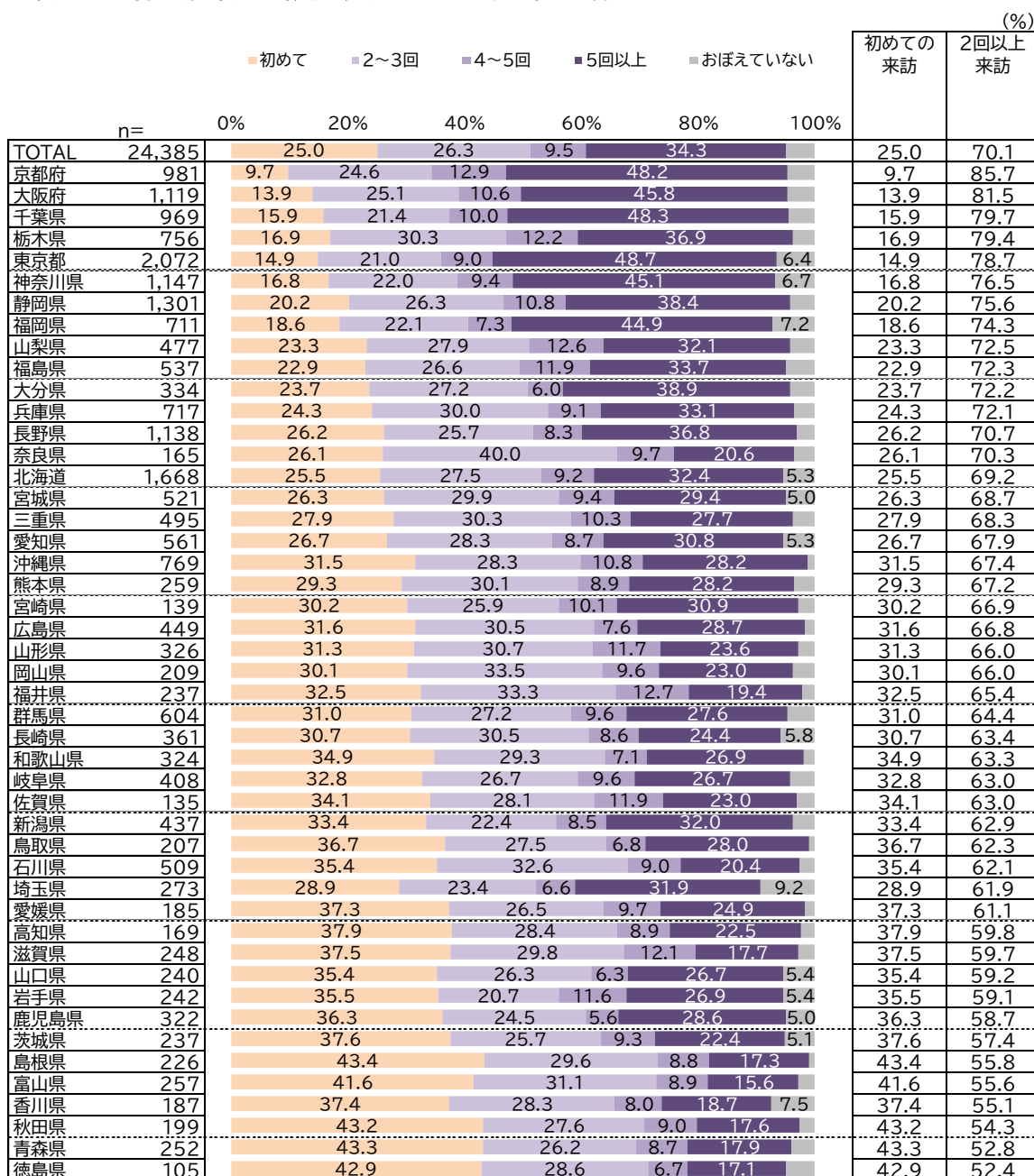
※訪問地毎に、最も訪問率の高い居住地を■、最も訪問率の低い居住地を■

【都道府県別集計3】 来訪回数

来訪回数をみると、2回以上の来訪の割合が最も高い（リピーター率が高い）のは京都府で85.7%。次いで大阪府（81.5%）、千葉県（79.7%）、栃木県（79.4%）、東京都（78.7%）となっている。

5回以上来訪した割合をみると、東京都が48.7%で最も多く、千葉県（48.3%）、京都（48.2%）と続く。

図表3-4: 都道府県別来訪回数(リピーター率が高い順)



※5%未満は非表示、2回以上の来訪が多い順に掲載

【都道府県別集計4】旅行行動

旅行行動をみると、「自然の風景をみる」の割合が最も高い県が多く、沖縄県（75.2%）、長野県（71.4%）、山梨県（70.2%）では7割以上となっている。一方、「温泉浴」については、多くの温泉地を有している大分県（71.3%）、群馬県（67.2%）、静岡県（59.9%）でその割合が高くなっている。京都府では「名所・旧跡をみる」（66.1%）、東京都では「都会見物」（32.2%）、千葉県と大阪府では「レジャーランド・テーマパーク」（それぞれ48.5%、27.4%）が最も多く、他の道県とは異なる傾向を見せている。

図表3-5: 都道府県別宿泊観光旅行での行動

	n=	自然の風景をみる	温泉浴	名所・旧跡をみる	飲食・特産品の買物・	神仏詣	資料館・美術館の見物・郷土	動物園・植物園・水族	鑑賞・スポーツなどの	演劇・音楽・	レジャーランド・	都会見物	季節の花見	ドライブ	祭りや行事をみる	海水浴
TOTAL	24,385	52.1	35.8	34.1	18.7	13.7	13.5	10.8	10.7	10.6	10.5	10.5	5.9	2.7		
北海道	1,668	63.1	38.4	31.6	20.9	7.2	17.0	10.8	6.8	8.8	12.6	11.3	6.6	1.7		
青森県	252	69.4	40.9	43.7	26.2	13.5	12.7	7.5	4.8	7.9	20.2	11.1	13.1	2.4		
岩手県	242	62.0	40.5	35.5	22.7	13.6	12.4	7.4	7.9	5.8	14.0	12.4	6.6	3.3		
宮城県	521	53.4	38.4	32.2	18.2	11.3	11.1	15.4	5.2	8.3	8.4	8.8	7.3	1.9		
秋田県	199	65.8	46.2	37.2	25.1	8.5	12.6	9.0	6.0	5.0	11.6	14.1	16.1	2.5		
山形県	326	67.2	50.0	40.8	22.7	19.0	14.4	8.3	5.2	6.1	14.1	16.9	8.9	3.4		
福島県	537	58.5	54.0	34.3	17.9	9.5	10.2	6.0	11.0	5.0	16.0	13.0	5.4	1.5		
茨城県	237	57.8	36.3	37.1	20.3	15.2	18.1	8.0	7.6	8.9	19.4	14.3	9.3	3.0		
栃木県	756	67.3	60.3	40.2	19.0	20.5	12.2	5.2	15.3	4.0	15.1	13.1	3.7	1.2		
群馬県	604	65.4	67.2	26.8	17.1	10.3	7.9	6.5	6.0	4.6	14.6	15.2	4.5	2.0		
埼玉県	273	43.6	21.2	22.7	9.5	12.1	12.5	23.1	9.9	8.4	12.1	9.2	6.6	1.1		
千葉県	969	30.2	18.4	12.9	10.3	6.2	8.0	8.3	48.5	7.0	7.8	8.2	4.9	3.8		
東京都	2,072	17.5	7.0	20.4	8.7	11.2	14.1	27.3	13.0	32.2	5.7	3.5	5.8	1.6		
神奈川県	1,147	51.5	48.0	29.0	16.0	10.5	13.3	10.0	9.9	13.0	10.8	9.6	4.0	1.9		
新潟県	437	58.1	48.5	30.7	22.9	10.8	12.1	8.7	5.0	5.3	11.7	14.4	7.1	4.1		
富山県	257	68.9	37.7	36.6	26.5	10.9	11.7	9.7	3.9	6.6	11.7	10.9	8.2	1.9		
石川県	509	59.7	48.3	57.0	29.5	12.6	21.2	4.9	2.4	9.2	8.1	10.0	6.3	1.2		
福井県	237	60.3	37.6	50.2	22.8	21.1	15.6	8.9	7.6	7.2	11.0	11.8	8.9	4.2		
山梨県	477	70.2	47.0	22.9	19.1	9.0	11.3	5.5	10.1	2.9	13.4	11.7	4.2	0.6		
長野県	1,138	71.4	46.2	32.2	21.4	12.8	8.1	4.0	4.1	2.5	11.0	13.7	3.9	0.4		
岐阜県	408	62.5	58.8	47.8	24.3	11.8	10.0	5.1	3.7	3.9	10.3	7.8	7.8	0.7		
静岡県	1,301	59.3	59.9	27.4	18.9	8.5	15.4	4.9	9.1	2.7	12.4	13.1	3.2	4.8		
愛知県	561	33.2	18.9	29.2	17.5	11.2	13.2	22.5	10.5	17.1	8.2	8.7	5.9	3.4		
三重県	495	56.2	39.0	39.2	25.5	33.9	14.3	1.6	16.8	2.8	7.3	9.5	5.3	1.0		
滋賀県	248	60.9	35.1	50.8	19.8	16.9	14.5	5.2	3.6	5.6	10.5	12.1	7.7	1.2		
京都府	981	55.9	16.8	66.1	22.1	44.8	14.4	5.9	3.1	12.5	18.8	4.8	10.2	1.1		
大阪府	1,119	16.4	9.8	23.3	12.7	7.4	11.4	26.5	27.4	24.5	5.2	3.9	4.6	1.0		
兵庫県	717	44.4	44.9	29.7	20.5	8.5	11.6	10.9	9.1	13.4	8.5	10.5	5.0	2.2		
奈良県	165	64.8	13.3	62.4	13.3	47.3	14.5	6.1	4.8	9.7	16.4	7.9	9.1	2.4		
和歌山県	324	64.5	50.6	34.0	17.9	18.5	20.4	3.7	18.2	2.8	9.6	11.4	4.6	6.5		
鳥取県	207	65.7	56.0	44.4	23.7	11.1	14.0	5.3	5.8	2.4	6.3	16.9	3.9	3.4		
島根県	226	65.0	50.4	61.5	18.1	46.9	17.3	3.1	0.9	4.0	10.2	15.5	6.2	2.2		
岡山県	209	53.1	23.4	43.1	18.7	12.4	17.7	5.7	8.1	6.2	9.1	7.2	5.3	0.0		
広島県	449	52.8	17.4	48.3	20.0	20.3	13.8	16.7	3.8	12.9	9.1	9.1	5.1	1.3		
山口県	240	62.1	38.8	51.7	22.1	15.4	17.5	4.2	3.3	3.8	8.3	14.6	7.1	0.8		
徳島県	105	69.5	24.8	36.2	21.0	19.0	35.2	6.7	5.7	3.8	14.3	21.0	7.6	1.0		
香川県	187	55.1	33.2	36.4	24.1	22.5	13.4	8.0	9.1	5.3	8.0	13.9	4.8	3.7		
愛媛県	185	51.9	55.7	42.2	24.9	16.8	14.6	9.2	2.7	8.1	8.6	21.6	5.4	2.7		
高知県	169	63.9	18.3	44.4	29.0	11.2	23.7	11.8	3.6	7.1	8.3	15.4	7.1	2.4		
福岡県	711	27.6	17.2	25.6	17.4	11.1	10.0	22.8	6.2	18.7	5.2	7.5	5.1	0.7		
佐賀県	135	51.9	46.7	32.6	22.2	13.3	12.6	2.2	3.7	7.4	11.1	8.9	4.4	1.5		
長崎県	361	57.1	31.6	47.4	22.2	11.4	14.1	3.6	18.0	11.4	15.0	9.1	11.1	0.6		
熊本県	259	68.7	56.0	37.8	20.8	12.0	9.3	5.8	6.9	5.8	14.7	15.4	6.6	1.5		
大分県	334	53.3	71.3	26.6	24.3	11.7	11.4	8.4	15.0	6.0	7.2	15.0	2.7	1.2		
宮崎県	139	61.2	35.3	31.7	17.3	27.3	6.5	7.2	5.8	7.2	7.9	13.7	7.2	3.6		
鹿児島県	322	65.5	47.8	41.0	19.9	13.4	14.3	7.5	5.3	9.0	12.1	13.4	6.8	3.4		
沖縄県	769	75.2	12.0	43.8	23.8	5.6	23.5	5.5	11.4	8.6	8.6	17.7	6.2	24.8		

※:1位 2位 3位 4位 5位

【都道府県別集計5】旅行費用

旅行費用をみると、旅行費用の総額では、沖縄県が115,822円で最も高く、次いで、青森県(88,144円)、北海道(80,489円)となっている。

旅行先での「宿泊費」が高いのは、沖縄県(44,650円)、千葉県(32,768円)、北海道(29,139円)である。「土産代」は沖縄県(10,002円)、北海道(9,619円)、鹿児島県(8,045円)で高く、「観光行動費」は沖縄県(21,218円)、千葉県(16,436円)、大阪府(16,381円)が高い。沖縄県は、すべての費用において最も高くなっている。

図表3-6:都道府県別宿泊観光旅行での費用

	総額 n=	旅行費用(平均額)					
		総額	団体旅行除く n=	団体旅行除く			
				宿泊費	交通費	土産代	観光行動費
TOTAL	24,385	54,304	21,539	23,075	15,328	6,491	12,045
北海道	1,668	80,489	1,363	29,139	27,352	9,619	16,192
青森県	252	88,144	186	27,899	20,196	6,915	14,353
岩手県	242	53,419	200	23,630	14,279	5,487	9,464
宮城県	521	45,255	456	20,021	13,924	6,034	10,037
秋田県	199	56,490	148	23,578	16,180	6,287	10,581
山形県	326	50,238	272	22,254	12,501	5,329	9,864
福島県	537	42,033	453	20,993	9,448	5,503	8,655
茨城県	237	36,346	197	17,640	7,639	4,536	8,428
栃木県	756	44,205	681	25,135	8,324	4,554	8,321
群馬県	604	38,627	543	19,860	8,193	4,635	8,120
埼玉県	273	32,813	253	13,649	9,679	6,455	10,260
千葉県	969	60,358	875	32,768	13,334	7,735	16,436
東京都	2,072	57,741	1,898	18,025	20,310	7,698	15,388
神奈川県	1,147	42,991	1,071	21,388	10,188	5,285	9,952
新潟県	437	45,047	385	23,329	12,896	5,413	9,165
富山県	257	53,127	211	22,040	16,135	6,514	9,889
石川県	509	59,481	444	25,973	15,188	6,804	11,838
福井県	237	47,729	192	23,377	12,736	5,960	10,043
山梨県	477	42,990	430	21,135	9,990	5,375	9,077
長野県	1,138	45,631	997	23,048	11,022	5,349	10,279
岐阜県	408	42,295	355	21,693	9,652	5,129	8,736
静岡県	1,301	43,506	1,195	22,580	8,564	5,205	9,382
愛知県	561	45,316	511	16,445	13,510	5,804	11,439
三重県	495	50,318	451	22,591	11,531	6,059	10,078
滋賀県	248	46,505	225	20,320	11,114	5,868	10,461
京都府	981	59,309	891	21,962	17,210	7,570	13,333
大阪府	1,119	53,357	1,032	17,662	16,935	6,954	16,381
兵庫県	717	43,602	653	21,548	11,616	5,368	10,071
奈良県	165	60,014	141	22,548	17,428	5,200	11,059
和歌山県	324	53,248	278	25,152	12,250	6,000	10,239
鳥取県	207	47,466	178	21,307	11,629	4,711	9,764
島根県	226	53,263	196	25,906	17,574	5,968	8,409
岡山県	209	41,260	182	17,206	11,502	5,628	8,486
広島県	449	53,197	405	19,404	16,642	7,108	11,283
山口県	240	49,858	205	22,094	15,969	6,740	10,196
徳島県	105	44,982	96	18,522	13,100	4,955	9,268
香川県	187	49,903	168	21,851	13,820	6,274	10,869
愛媛県	185	52,523	166	24,935	15,859	5,820	8,499
高知県	169	53,015	137	19,237	15,933	6,697	8,682
福岡県	711	51,843	662	17,352	17,251	6,168	13,646
佐賀県	135	45,116	112	20,842	15,358	7,347	10,071
長崎県	361	67,181	293	28,927	19,739	6,837	12,695
熊本県	259	55,062	235	27,031	13,091	7,284	11,240
大分県	334	51,410	304	26,101	13,148	6,211	10,389
宮崎県	139	43,215	123	24,473	12,719	5,744	10,784
鹿児島県	322	67,744	267	25,403	23,613	8,045	13,090
沖縄県	769	115,822	632	44,650	40,488	10,002	21,218

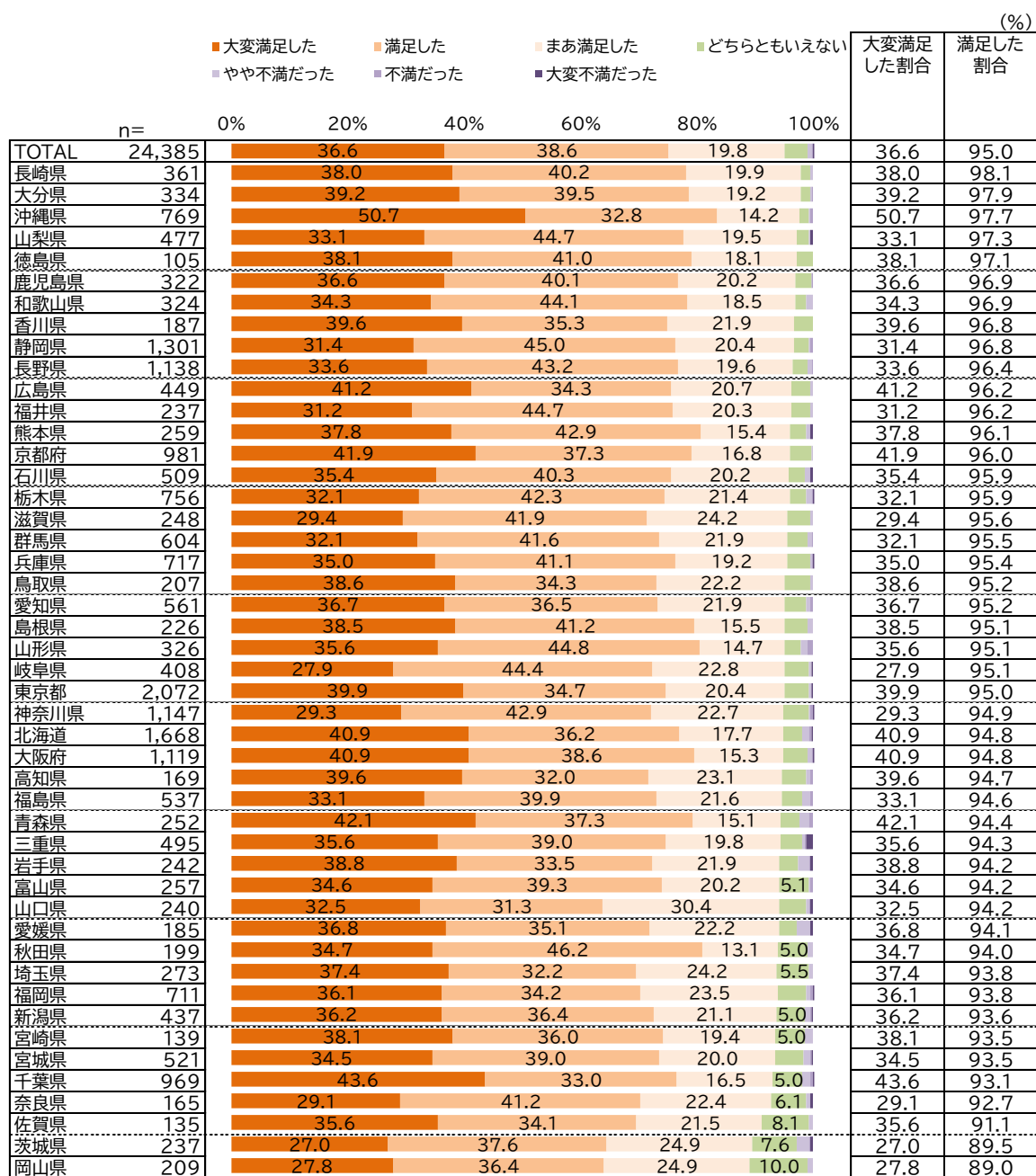
※上位3地域を赤字

【都道府県別集計6】満足度

満足度をみると、満足した割合（「大変満足した」、「満足した」、「まあ満足した」割合の合計値）が最も高いのは長崎県で98.1%であった。次いで大分県(97.9%)、沖縄県(97.7%)となっている。

「大変満足した」割合が高いのは、沖縄県(50.7%)、千葉県(43.6%)、青森県(42.1%)、京都府(41.9%)となっている。

図表3-7: 都道府県別宿泊観光旅行の満足度(満足した割合が高い順)



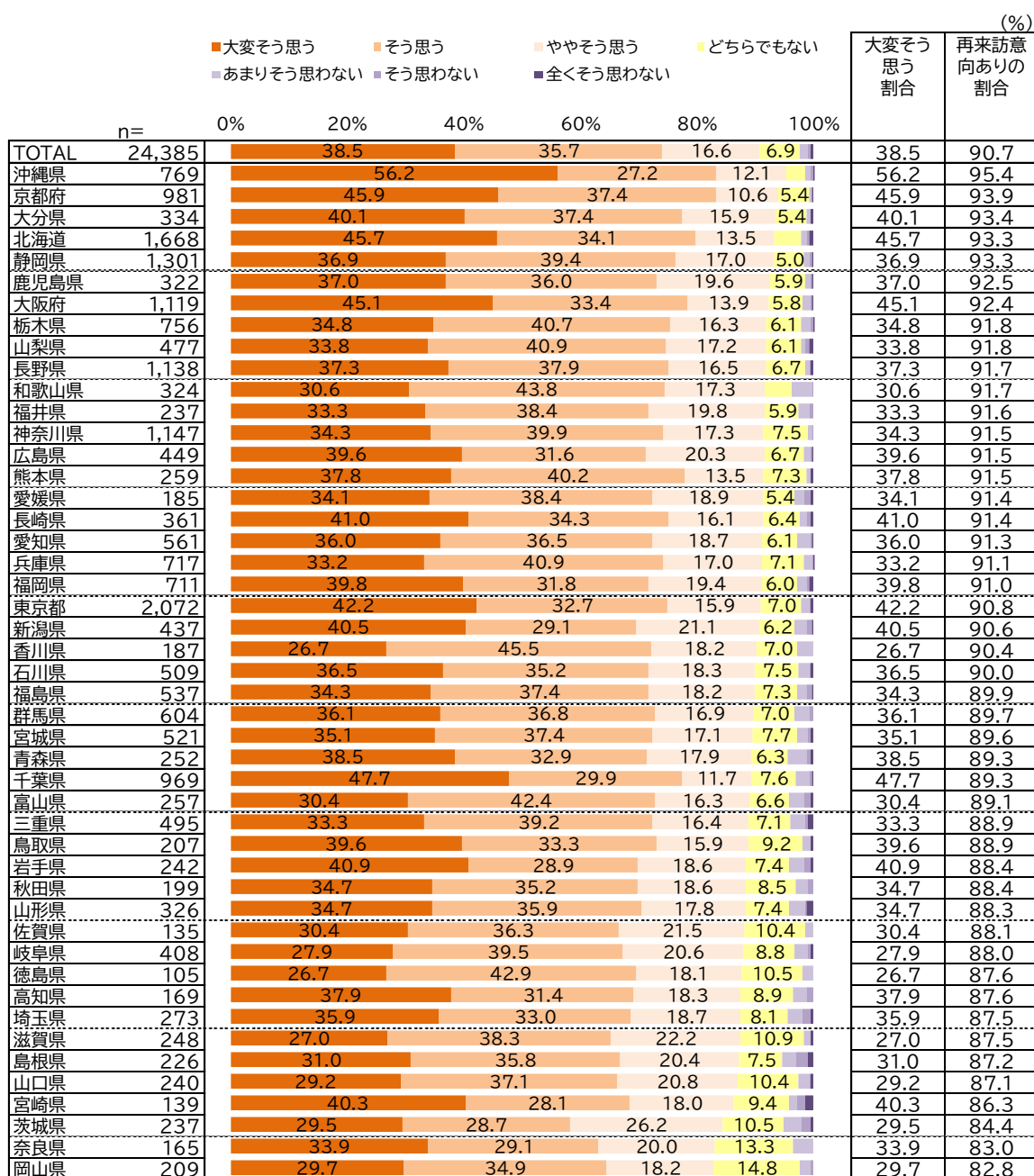
※5%未満は非表示、満足した割合が高い順に掲載

【都道府県別集計7】再来訪意向

再来訪意向をみると、再来訪意向ありの割合（「大変そう思う」、「そう思う」、「ややそう思う」の割合の合計値）が最も高いのは沖縄県で95.4%、次いで京都府（93.9%）、大分県（93.4%）となっている。

「大変そう思う」割合は、沖縄県が56.2%と最も高く、次いで千葉県（47.7%）、京都府（45.9%）、北海道（45.7%）となっている。

図表3-8: 都道府県別再来訪意向(再来訪意向ありの割合が高い順)



※5%未満は非表示、再来訪意向ありの割合が高い順に掲載

4. 調査結果概要

表 1. 過去 1 年間の実態 — 宿泊観光旅行

項目	宿泊観光旅行の実態	
1) 参加率	47.4%	
2) 参加回数		
全体平均	1.32回	
参加者平均	2.78回	
3) 実施月	8月が 13.3%でピーク	
4) 目的地	県内	11.2%
	県外	88.0%
5) 出発した日	平日	36.3%
	土・日・祝	34.3%
6) 行動 (複数回答)	①自然の風景をみる	52.1%
	②温泉浴	35.8%
	③名所・旧跡をみる	34.1%
7) 主な行動	①温泉浴	19.1%
	②自然の風景をみる	15.3%
	③名所・旧跡をみる	13.1%
8) 同行者	①家族	55.2%
	②友人・知人	20.6%
	③自分ひとり	16.5%
9) 同行人数	①2～3人	58.0%
	②1人	16.9%
	②4～5人	
10) 利用交通機関 (複数回答)	①自家用車	44.7%
	②JR鉄道	39.1%
	③私鉄	16.6%
	④飛行機	16.0%
	⑤路線バス	12.7%
11) 宿泊施設	①ホテル	65.7%
	②旅館	22.1%
12) 宿泊数	平均 1.69泊	
13) 旅行費用		
総費用	54,300円	
宿泊費	23,080円 注) 旅行会社の募集団体	
交通費	15,330円 及び「職場、学校」	
土産の費用	6,490円 「地域宗教」の団体	
観光行動費	12,040円 を除く	

表 2. 過去 1 年間の宿泊旅行の実態

旅行の種類	参加率	参加回数 (全体平均)	参加回数 (参加者平均)
全体	56.8%	2.44回	4.30回
観光旅行	47.4%	1.32回	2.78回
出張などの商用	8.6%	0.48回	5.58回
帰省などの私用	14.9%	0.44回	2.97回
兼観光旅行	7.6%	0.20回	2.67回

表 3. 今後 1 年間の宿泊観光旅行の希望

1) 参加希望率	61.1%	
2) 参加希望回数	2.26回	
3) 希望季節	秋 31.1%、	春 19.0%
4) 希望宿泊数	2.10泊	
5) 希望費用	総費用	45,670円
	1泊あたり宿泊費	11,280円
6) 希望する旅行の種類	①温泉を楽しむ	46.8%
	②食を楽しむ	27.2%
	③季節の花々を楽しむ	23.9%
	④寺社仏閣を楽しむ	23.4%
	⑤リゾートライフを楽しむ	20.9%